

*Xylella fastidiosa* に関する  
病害虫リスクアナリシス報告書

令和6年2月19日 改訂

農林水産省横浜植物防疫所

## 主な改訂履歴及び内容

平成	28 (2016)	年	3 月	25 日	作成
平成	31 (2019)	年	3 月	25 日	発生国の追加 (スペイン) 及び削除 (トルコ)、宿主植物の追加 (65 種)
令和	2 (2020)	年	3 月	25 日	発生国の追加 (イスラエル) 及び宿主植物の追加 (アオゲイトウ等 98 種及びヒトツバエニシダ属)
令和	3 (2021)	年	2 月	3 日	宿主植物の追加 (アメリカノウゼンカズラ等 117 種)
令和	4 (2022)	年	12 月	1 日	宿主植物の追加 (アデノカルプス・ラインジイ等 16 種)
令和	6 (2024)	年	2 月	19 日	宿主植物の追加 (イタリアニンジンボク等 26 種)、発生国の追加 (ポルトガル)

## 目次

はじめに.....	1
I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害植物）.....	1
1. 学名及び分類.....	1
2. 地理的分布.....	2
3. 宿主植物及び日本国内での分布.....	2
4. 感染部位及びその症状.....	3
5. 移動分散方法.....	3
6. 生態.....	5
7. 媒介性又は被媒介性.....	5
8. 被害の程度.....	6
9. 防除.....	6
10. 診断、検出及び同定.....	6
11. 日本における輸入検疫措置.....	7
12. 諸外国における輸入検疫措置.....	7
II 病害虫リスクアナリシスの結果.....	10
第1 開始（ステージ1）.....	10
1. 開始.....	10
2. 対象となる有害動植物.....	10
3. 対象となる経路.....	10
4. 対象となる地域.....	10
5. 開始の結論.....	10
第2 病害虫リスク評価（ステージ2）.....	11
1. 有害動植物の類別.....	11
2. 農業生産等への影響の評価.....	12
3. 入り込みの可能性の評価.....	14
4. <i>Xylella fastidiosa</i> の病害虫リスク評価の結論.....	15
第3 病害虫リスク管理（ステージ3）.....	16
1. <i>Xylella fastidiosa</i> に対するリスク管理措置の選択肢の検討.....	16
2. 経路ごとの <i>Xylella fastidiosa</i> に対するリスク管理措置の選択肢の特定.....	19
3. <i>Xylella fastidiosa</i> の病害虫リスク管理の結論.....	20
別紙1 <i>Xylella fastidiosa</i> の発生国等の根拠.....	21
別紙2 <i>Xylella fastidiosa</i> の宿主植物の根拠.....	22
別紙3 <i>Xylella fastidiosa</i> の宿主植物に関連する経路の年間輸入検査量 （貨物、郵便物及び携帯品）.....	83
引用文献.....	110

## はじめに

*Xylella fastidiosa* は、アメリカ合衆国、ブラジル等でブドウ属、ミカン属等に対する経済的被害が報告されている病原細菌である。大韓民国では本細菌の宿主植物の輸入を禁止し、ニュージーランドでは病害虫無発生地域等の検疫措置を要求している。

本細菌は、日本では植物防疫法施行規則（農林省, 1950a）別表 1 に規定されている検疫有害植物であり、同施行規則別表 2 の 2 に規定されている国又は地域からの該当する宿主植物の生植物（栽培の用に供するもの）の輸入については、輸出国での血清学的診断法又は核酸の塩基配列を検出するために適切と認められる方法による検査を要求している。

今般、本細菌の新たな宿主植物及び発生国に関する情報があったことから、改めて本細菌に対するリスク評価を実施し、現行の検疫措置の有効性を評価するため、病害虫リスクアナリシスを実施した。

## I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害植物）

### 1. 学名及び分類

(1) 学名 (LPSN, 2023; Wells et al., 1987)

*Xylella fastidiosa* Wells et al. 1987

(2) 英名、和名等 (CABI, 2023)

Pierce's disease of grapevines; alfalfa dwarf; almond leaf scorch; citrus variegated chlorosis; dwarf lucerne; oleander leaf scorch; pear leaf scorch; pecan leaf scorch; periwinkle wilt; phony disease of peach; plum leaf scald

(3) 分類 (LPSN, 2023)

種類：細菌

科：Lysobacteraceae

属：*Xylella*

(4) シノニム

情報なし。

(5) 系統等

本細菌は木部局在性の難培養性細菌であり、宿主植物ごとに異なる病名が付けられている。便宜的に宿主植物の違いによる系統（ブドウ系統、アーモンド系統、モモ系統等）分けがなされているが、2010 年以降に分子系統解析により、本細菌種の下位分類として以下のように亜種が報告されている (Dupas et al., 2019; EFSA, 2013, 2022; EPPO GDB, 2023; Hernandez-Martinez, 2007; Nunney et al., 2014; Randall et al., 2009; Schaad, 2004)。

*X. fastidiosa* の種未満の分類は未だ途中であることから、本報告書では、亜種及び系統を含めたものとする。また、亜種として報告される前に報告された論文については、そのまま系統と称することとする。

亜種	主な宿主植物	主な地理的分布
----	--------	---------

subsp. <i>fastidiosa</i>	アーモンド、キスツス・モンスペリエンス、サクランボ、セイヨウキョウチクトウ、ペルシャグelm、ポリガラ・ミルティフォリア、マンネンロウ、エリシムム属、コーヒーノキ属、ストレプトカルパス属、スノキ（コケモモ）属、ブドウ属	台湾、イスラエル、スペイン（バレアレス諸島）、アメリカ合衆国、コスタリカ、メキシコ
subsp. <i>pauca</i>	アーモンド、オリーブ、サクランボ、セイヨウキョウチクトウ、マンネンロウ、コーヒーノキ属、ツルニチニチソウ属、ミカン属	イタリア、スペイン（バレアレス諸島）、フランス、アルゼンチン、エクアドル、コスタリカ、ブラジル
subsp. <i>multiplex</i>	アメリカスズカケノキ、アーモンド、イチジク、オリーブ、セイヨウスモモ、ペカン、ポリガラ・ミルティフォリア、モモ、アカシア属、コナラ属、スノキ（コケモモ）属、ニレ属、バラ属、ラウアンドウラ属	イタリア、スペイン（バレアレス諸島、バレンシア州）、フランス、アメリカ合衆国、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ
subsp. <i>sandyi</i>	セイヨウキョウチクトウ、コーヒーノキ属	アメリカ合衆国
subsp. <i>morus</i>	ナンテン、クワ属	アメリカ合衆国
subsp. <i>tashke</i>	チタルパ・タシュケンテンシス	アメリカ合衆国

ブドウ系統は、ヨーロッパブドウ、アメリカブドウ及び *Vitis riparia* が主要な宿主植物であり、台木種である *V. aestivalis*、*V. berlandieri*、*V. candicans*、*V. rupestris* 及びハイブリッド種の *V. rotundifolia* には抵抗性がある。また、ブドウ系統はアーモンドに leaf scorch disease を引き起こすが、アーモンド系統は、ブドウの植物体内に低密度で感染し、病気を引き起こすことはない（CABI, 2023）。

モモ系統は、モモの全ての栽培品種、ハイブリッド種及び台木種に感染し、セイバンモロコシのような果樹園の雑草にも感染するが、ブドウには感染しない（CABI, 2023）。

ニレ属系統とアメリカスズカケノキ系統は、ブドウへ感染することは知られていない（CABI, 2023; Sherald, 1993）。

## 2. 地理的分布

(1) 国又は地域（詳細は別紙1参照。下線部は令和6（2024）年2月19日改訂時に追加。）

アジア：台湾

中東：イスラエル、イラン

欧州：イタリア、スペイン、フランス、ポルトガル

北米：アメリカ合衆国、カナダ

中南米：アルゼンチン、エクアドル、コスタリカ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、メキシコ

(2) 生物地理区

本細菌は、東洋区、旧北区、新北区及び新熱帯区の計4区に分布する。

## 3. 宿主植物及び日本国内での分布

(1) 宿主植物（詳細は別紙2参照）

本細菌の宿主範囲は非常に広く、数十科に及ぶ。主な宿主植物は、カエデ属 (*Acer* spp.)、セイヨウキョウチクトウ (*Nerium oleander*)、ペカン (*Carya illinoensis (=Carya pecan)*)、トウグワ (*Morus alba*)、アメリカスズカケノキ (*Platanus occidentalis*)、ニレ属 (*Ulmus* spp.)、サクラ属 (*Prunus* spp.)、ナシ属 (*Pyrus* spp.)、オランダフウロ属 (*Erodium* spp.)、ブドウ属 (*Vitis* spp.) 及びミカン属 (*Citrus* spp.) である。

## (2) 日本国内における宿主植物の分布及び栽培状況

本細菌の宿主植物であるブドウは 47 都道府県で栽培されている。ミカン属は東北 (宮城県及び山形県) 以南に分布している。サクラ属は街路樹、自生木を含めて全国に分布しており、コナラ属は沖縄県以外の全国に自生している。

## 4. 感染部位及びその症状

本細菌は根、茎及び葉内の木部道管内で増殖する。細菌の凝集、感染に伴って植物がチロースや粘着物を形成し、道管が詰まる。宿主植物によっては、細菌は感染部位に留まるが、感受性の高い宿主植物では道管を通して全身に移動し、全身感染する可能性がある (EPPO GDB, 2020)。

本細菌による被害が発生しているのは、主にブドウ、ミカン属及びモモであるが、多くの宿主植物が報告されている。しかし、他の宿主植物のうち多くの植物種は、感染したとしても症状を示さないことがある (EPPO GDB, 2020)。

ブドウの最も特徴的な症状は葉焼けである。初期症状は、緑色の葉の一部が突然枯れ、次第に茶色になり、葉全体が縮み、落葉する。茎の症状は、茶色と緑色の斑紋状となる。芽は発育不良となる。塩害や微量要素欠乏のような他の障害と混同される (Janse and Obradovic, 2010)。ブドウの症状は顕著であり、品種や樹齢によるが、感染後 1～数年以内に枯死する。接ぎ木により感染したブドウは植えてから 1 年以内に枯死する (CABI, 2023; EPPO, 2020)。

モモの症状は、若い芽の発育不良、頂点の叢 (そう) 生である。側枝は水平に成長し、落枝する。葉や花が早期に発生し、葉が健全樹に比べ長期間残る。症状が現れるまで長期間を要することがある (感染後 18 か月又はそれ以上) (Janse and Obradovic, 2010)。感染樹は、小果化、果実数減少により 3～5 年後までに経済的価値が完全に失われる (CABI, 2023)。

Citrus variegated chlorosis 症状は、ほとんどのスイートオレンジで発症するが、タヒチライム及びマンダリンオレンジでは観察されない。ミカン属の苗木では症状が現れるまでに 9～12 か月を要し、その間無症状の潜伏期間となる。樹齢が 7～10 年以下の樹では葉に斑入りの萎黄症状が見られる。若い樹は症状が出るが、樹齢 5 年以上の樹は症状が現れ難い。葉が成長すると、小さな茶色の盛り上がった病変が裏面に、表面には萎黄症状が見られる。果実の小型化、高糖質、果皮の硬化などの影響がある (CABI, 2023; EPPO, 2020)。

オリーブでは、自然界で感染した樹から採取した本細菌を健全樹に接種した試験において、1 年以内に葉焼けや枝枯れの症状を示した報告がある (Carlucci et al., 2013; Krugner et al., 2010)。

コーヒーノキ属、カエデ属、クワ属、ニレ属、コナラ属、アメリカスズカケノキ、セイヨウキョウチクトウ及びペカンの症状は葉焼け、ツルニチニチソウの症状はわい化、イヌビエ、*Rubus discolor*、*Artemisia douglasiana* 等は無症状で感染する (CABI, 2023; Janse and Obradovic, 2010)。

## 5. 移動分散方法

### (1) 自然分散

本細菌は、木部を吸汁加害する昆虫類により媒介され、接触や風媒による伝染は知られていない (CABI, 2023; EPPO, 2020) \*。ヨコバイ科 (Cicadellidae)、アワフキムシ科 (Aphrophoridae) 及びセミ科 (Cicadidae) がベクターとして知られている。(EPPO, 2020)。

ベクターの飛翔は 100m と短い、風によって長距離移動することが知られている (EFSA, 2013)。本細菌は、ベクターによる野生宿主植物への伝搬により生存が維持される (CABI, 2023)。

※ 本細菌は道管部 (木部) 局在細菌のため、カメムシ目の頸吻 (けいふん) 亜目に属する道管部 (木部) 吸汁性昆虫のみが伝搬するとの報告がある (EFSA, 2015)。これら昆虫による本細菌の伝搬では、潜伏期間を必要とせず、永続的に伝搬される可能性が示唆されている (EFSA, 2015)。本細菌の取り込みは消化管に限定される (EFSA, 2015)。また、本細菌は前口孔又は口孔内に付着後、前口孔又は口孔内で増殖する (リンパ液内には循環せず、潜伏期間も必要ない)。このことから、ベクターの脱皮により伝搬性を失うことが示唆されている。これは、腸管が外胚葉由来で、脱皮の際に更新されるためと考えられている (EFSA, 2015)。このため、羽化した成虫が本細菌の伝搬能を有するには、感染植物を吸汁しなければならない可能性がある。成虫のベクターが一度感染すると、生存期間中に腸管で本細菌が増殖し、永続的に伝搬することができる可能性がある (EFSA, 2015)。なお、経卵伝搬はしない (CABI, 2023)。

有翅成虫は、移動性があるため、本細菌の分散の原因となる。本細菌の保持は腸管に限定されるため、ベクター 1 頭当たりの細菌濃度は低い (ただしベクターの腸管内で生きている細菌数がごくわずかでも伝搬可能) ので、ベクターを対象とした本細菌の保毒調査には PCR 法のような感度の高い手法が必要となる (EFSA, 2015)。本細菌の伝搬は木部吸汁性昆虫だけに限定されているため、すべての木部吸汁性昆虫は、ベクターとなる可能性があると考えられているが、伝搬性は、昆虫の種、寄主植物及び本細菌の遺伝子型により差異があると考えられている (EFSA, 2015)。

一方、師部吸汁性昆虫は、潜在的ベクターと考えられていない (Comara et al, 2017a)。実際、本細菌に感染しているオリーブ園の地上部から集められたホソアワフキ (木部吸汁性) 及び *Euscelis lineolatus* (オオヨコバイ科: 日本未発生) (篩管吸汁性) を PCR 法により調べたところ、木部吸汁性昆虫のホソアワフキからは本細菌が確認できたが、師部吸汁性昆虫の *E. lineolatus* からは検出できなかったとの報告がある (Saponari et al., 2014b)。しかし、重度の感染が確認されているオリーブ園で採取された *E. lineolatus* の成虫の体内から、本細菌が検出されたとの報告がある (Elbeaino et al., 2014; EFSA, 2015)。師部吸汁性昆虫であっても、わずかに木部を吸汁する場合もあることが他の種で報告されているが、本細菌を伝搬することは証明されていないため、ベクターではないとの報告もある (Chauvel et al., 2015a, b; EFSA, 2015)。

## (2) 人為分散

本細菌は、栽植用苗及び穂木の人為的移動により伝搬する (CABI, 2023; EPPO, 2020)。

種子伝搬については、スイートオレンジにおいて、本細菌による citrus variegated chlorosis 症状を発症した果実から得られた種子を播 (は) 種し、育成して得た苗を調査した結果本細菌が検出されたという報告 (Li et. al., 2003) 及び種子から実生への本細菌の伝搬は生じないとの報告がある (Coletta-Filho et al., 2014; Hartung et al., 2014)。ペカンにおいて、本細菌感染樹由来の種子から発芽した実生から本細菌が検出されたとの報告があるが、ベクタ

一が未成熟果（殻の道管）を食害したことによる感染である可能性も示唆されており、本細菌の種子伝搬については更なる研究が必要とされている。（Cervantes, 2022; EPPO, 2022）

果実に関しては、本細菌が感染したブドウ樹から収穫した果実をベクターである *G. atropunctata* 及び *D. minerva* に摂食させても、本細菌を獲得することはできないとの報告があり（Purcell and Saunders, 1995）、果実による伝搬は知られていない。

## 6. 生態

（1）中間宿主及びその必要性  
情報なし。

（2）伝染環  
本細菌は、木部を吸汁加害する昆虫類により媒介され、接触や風媒による伝染は知られていない（CABI, 2023; EPPO, 2020）。

（3）植物残さ中での生存  
情報なし。

（4）耐久生存態  
情報なし。

## 7. 媒介性又は被媒介性

アメリカ合衆国カリフォルニア州では、アワフキムシ科の *Aphrophora permutata*（日本未発生）、ヨコバイ科の *Homalodisca vitripennis*（=*H. coagulata*）（日本未発生：検疫有害動物（農林省（1950 a））、*Cameocephala fulgida*（=*Xyphon fulgidum*）（日本未発生）、*Draeculacephala minerva*（日本未発生）、*Graphocephala atropunctata*（日本未発生）等がピアス氏病（Pierce's disease）の主要なベクターであり、ヨコバイ科の *Homalodisca vitripennis*（=*H. coagulata*）（日本未発生：検疫有害動物（農林省（1950 a））、*H. insolita*（日本未発生）、*Oncometopia orbona*（日本未発生）、*G. versuta*（日本未発生）及び *Cuerna costalis*（日本未発生）がモモに感染する系統のベクターとして知られている（CABI, 2023; EPPO, 2023）。また、ブラジルでは、ヨコバイ科の *Acrogonia terminalis*（日本未発生）、*A. citrina*（日本未発生）、*Dilobopterus costalimai*（日本未発生）及び *Oncometopia facialis*（日本未発生）がミカン属における主要なベクターであるという報告もある（CABI, 2023; Coelho et al., 2008; IPPC, 2017; EPPO, 2020）。

また、日本既発生 of ホソアワフキが、欧州において本細菌のベクターとして報告されている（Comara et al., 2017b; EPPO, 2020; Saponari et al., 2016）。

その他の本細菌のベクターの可能性のあるヨコバイ類（日本既発生）は、以下のとおり。

- ・ ブドウ：フタテンヒメヨコバイ（*Arboridia apicalis*）、スズキヒメヨコバイ（*A. suzukii*）、ヒメアオズキンヨコバイ（*Batracomorphus diminutus*）、アオズキンヨコバイ（*B. mundus*）、ツマグロオオヨコバイ（*Bothrogonia ferruginea*）
- ・ モモ及びセイヨウスモモ：ヒメヨコバイ属（*Empoasca* spp.）、オビヒメヨコバイ（*Naratettix zonatus*）、オオヨコバイ（*Cicadella viridis*）

## 8. 被害の程度

アメリカ合衆国、ブラジル等で本細菌による経済的損失が報告されている（CABI, 2023）。

ブドウでは、アメリカ合衆国の本細菌の発生地域（メキシコ湾沿岸）では、ヨーロッパブドウ及びアメリカブドウにおいて、本細菌に高頻度で感染したために栽培できず、代わりに *Vitis rotundifolia* や抵抗性品種を栽培することになったとの報告がある。南米及びアメリカ合衆国カリフォルニア州の一部のブドウ生産地域でも同様な事例がある。このように、本細菌の発生地域では抵抗性品種を利用しなければ、栽培ができない。本細菌の分散は、気候の影響を受けやすく、ベクターの発生状況に依存している可能性がある。

モモでは、枯死させることはないが、小果化及び果実数減少の影響がある。

ミカン属では、ブラジル南部やアルゼンチンの一部で被害の報告があり、2005年にはこれら感染地域の商業用果樹で44～63%が感染し、減産の原因となった（CABI, 2023）。

オリーブでは、2013年にイタリアのApulia地方において本細菌が流行し、ほ場で被害の発生が報告されている（EFSA, 2015）。2015年10月時点で、約100万本の樹に感染したと推定されている（CABI, 2023）。

他の宿主植物（コナラ属、カエデ属、クワ属、ニレ属等）では、成長期に葉枯れが見られるが、枯死や栽培ができないような被害は起きていない（CABI, 2023）。

## 9. 防除

健全な穂木の生産が本細菌に対する実用的な防除方法である。ベクターの防除は、分散を防ぐ有効な方法である。宿主植物に対する病原体自体への農薬散布等の化学的防除は野外では成功していない（CABI, 2023）。

## 10. 診断、検出及び同定

### (1) 症状

症状は宿主植物や本細菌の系統により異なるが、葉焼け、葉面の退緑・褐色病斑、葉の萎ちようや奇形、枝枯れ、節間短縮、矮化や果実の縮小等がみられる（EPPO GDB, 2020; CABI, 2023）。ブドウ、モモ、オリーブ、ミカン属植物等では症状の報告がある一方、感染し本細菌の増殖が進んでも無症状である宿主植物も多数ある（EPPO, 2023）。

### (2) 検定

- ・ 生物検定：感受性植物への接ぎ木又は虫媒接種する（CABI, 2021）。
- ・ 血清学的診断法：ELISA法、蛍光抗体法、dot immunobinding assay（DIBA）法（CABI, 2021; EPPO, 2023）。ELISAキットが市販されている（3亜種の血清型を混合。アーモンド、ミカン属、ブドウ、ニレ、クワ、ナラ、ニチニチソウ、アメリカスズカケノキ等から検出が可能）（Agdia, 2021）。
- ・ 遺伝子診断法：DNA hybridization法、PCR法（CABI, 2021）が報告されており、Minsavage et al. (1994)の種特異的プライマーを使用したPCR法は、コナラ属、アルファアルファ（*Medicago sativa*）、モモ、ミカン属、セイヨウキョウチクトウ、セイヨウスモモ、ブドウ及びアーモンドから検出が可能である（CABI, 2021; Minsavage et al., 1994）。亜種については、16S-23S rDNA ISR領域の塩基配列解析により識別できる（EFSA, 2013; Schaad, 2004, Hernandez-Martinez, 2007）。その他、リアルタイムPCR法やLAMP法による検出が報告されている（Harper et al., 2010; Li et al., 2013）。

なお、植物検疫措置に関する国際基準（以下「ISPM」という。） 27 Annex 25 DP 25で

は、本細菌に感染した宿主植物の症状及び本細菌の分離、検定方法を記載した総合的な診断マニュアルが報告されている（FAO, 2018）。

## 1 1. 日本における輸入検疫措置

本細菌は、植物防疫法施行規則（農林省, 1950a）別表 1 に規定されている検疫有害植物であり、同施行規則別表 2 の 2 に規定されている国又は地域からの該当する宿主植物の生植物（種子及び果実を除く。）であって栽培の用に供するものについては、輸出国において展葉期に、ELISA 法等の適切な血清学的診断法又は PCR 法等の適切な遺伝子診断法による検定を行い、本細菌に感染していないことを確認し、その旨を検査証明書に追記することを要求している（農林水産省, 1998; WTO, 2023）。

## 1 2. 諸外国における輸入検疫措置

### （1）欧州連合（European Union : EU）（EUR-Lex, 2020, 2021）

EU 域外で生産された本細菌の宿主植物について、以下の検疫措置を要求している。また、EU 域内では本細菌の発生地域を設定し、防除と移動規制を行っている。

#### ア 本細菌の発生が知られていない国又は無発生地域で生産された植物に対する要求事項

- ・ 国又は地域単位で本細菌の感染率が 1% 以下であることを 80% の信頼水準で確認できるサンプリング計画に基づき検査しており、本細菌の無発生を検査証明書に追記すること。
- ・ 生産場所において年間の適切な時期に公的な検査が行われ、遺伝子診断法を用いた検定により本細菌の不在を確認していること。特に栽植用植物（種子を除く。）のアーモンド、オリーブ、キレハラベンダー、セイヨウキョウチクトウ、ポリガラ・ミルティフォリア及びコーヒーノキ属植物については、感染率が 1% 以下であることを 80% の信頼水準で確認できるサンプリング計画に基づき検査すること。

#### イ 本細菌の無発生生産用地で生産された植物に対する要求事項

- ・ 生産用地で年 2 回の公的検査による本細菌とベクターの不在確認及びベクターの防除対策を実施すること。
- ・ 無発生生産用地として公的に認定され、EU 当局に通知がなされた生産用地で生産すること。
- ・ 搬出前に遺伝子診断法により本細菌の発生率が 1% 以下であることを 90% の信頼水準で確認すること。
- ・ ベクターから保護された包装で輸送すること。

### （2）英国（Legislation.gov.uk, 2021）

本細菌の宿主植物に対し、以下の検疫措置を要求している。

#### ア 本細菌の無発生の国又は地域生国由来の宿主植物に対する要求事項

- ・ 輸出前の 3 年間（3 年生未満の植物については全生育期間）、本細菌無発生の国又は地域で生産すること。

#### イ 本細菌の無発生生産用地由来の宿主植物に対する要求事項

- ・ ISPM に沿って認定された本細菌の無発生生産用地で生産すること。
- ・ 生産用地及びその周辺 100m の範囲で本細菌とベクターについて、年 2 回の公的検査による本細菌とベクターの不在確認及びベクターの防除対策を実施すること。

と。

- ・ 輸出前に、国際的に検証された方法で本細菌の感染率が1%以下であることを99%の信頼水準で確認すること。
- ・ ベクターから保護されたこん包で輸送すること。

なお、インビトロ（無菌条件下）で栽培された植物、栽植用のオリーブ、ポリガラ・ミルティフォリア、マンネンロウ、コーヒーノキ属及びラウアンドウラ属については、本細菌を対象として別途検疫措置が定められている。

### (3) オーストラリア (Australian Government, 2022)

緊急措置として以下の措置を要求している。

- ・ 本細菌のハイリスク国に指定された国からの対象種の組織培養植物について、当該植物の親植物が本細菌に感染していないことを室内検定で確認すること。輸出国での検定が実施されない場合、輸入後の12か月以上の隔離栽培の後、PCR法により検定を行う。
- ・ 本細菌のハイリスク国に指定された国からの対象種の栽植用植物について、ベクターを排除できる施設で当該植物とその親植物が生産され、本細菌に感染していないことを室内検定で確認すること等の条件を満たすこと。輸出国での措置が実施されない場合、輸入後の12か月以上の隔離栽培の後、PCR法による検定、あるいは50℃ 45分間の温湯処理が必要。
- ・ 全ての国で生産された *Carya* 属栽植用種子に対し、*Xylella* 属細菌を対象として輸入後12か月以上の隔離検疫の実施。

なお、室内検定はPCR法とリアルタイムPCR法（信頼水準95%で感染率が0.5%以下であることを満たすサンプリング条件）の両方の実施を要求している。

### (4) 大韓民国 (WTO, 2022)

本細菌の発生国として指定された国で生産されたブドウ属等の栽植用植物及び栽植用ペカン種子について、本細菌及びそのベクターを対象病害虫として輸入禁止としている。

### (5) ニュージーランド (MPI, 2023)

本細菌の宿主植物の苗木（植物体全体、挿し木、球根）及び組織培養体について、以下のいずれかの検疫措置をとることを要求している。なお、本細菌の無発生国、又は第一次産業省（Ministry for Primary Industries : MPI）が承認した施設で生産した組織培養体を輸入する場合を除き輸入許可証が必要である。

- ・ MPIによって本細菌が無発生であることを承認された国で生産されており、その旨が検査証明書に追記されていること。
- ・ 本細菌の無発生の地域又は生産地で生産され、その旨が検査証明書に追記されており、輸入後、6か月以上の期間、指定診断施設で検査を受けること。
- ・ MPIが承認した生産施設で生産されていること。

### (6) ユーラシア経済同盟 (Eurasian Economic Union : EAEU) (EAEU, 2022)

以下の検疫措置を要求している。

- ・ オリーブ、仁果類、核果類及び殻果類の栽植用植物について、本細菌の無発生の地域、生産地又は生産用地で生産されていること。

- ・ ブドウ属の栽植用植物について、本細菌の無発地域で生産されていること。
- ・ 熱帯及び亜熱帯植物の栽植用植物について、本細菌の無発の生産地又は生産地で生産されていること。

## Ⅱ 病害虫リスクアナリシスの結果

### 第1 開始（ステージ1）

#### 1. 開始

*Xylella fastidiosa* に対するリスク評価を行い、現行の検疫措置の有効性を評価するため、病害虫リスクアナリシスを実施する。

#### 2. 対象となる有害動植物

*Xylella fastidiosa* を対象とする。

#### 3. 対象となる経路

リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報の「2. 地理的分布」に示す「国又は地域」からの「3. 宿主植物及び日本国内での分布」に示す「宿主植物」であって、「4. 感染部位及びその症状」に示す「感染部位」を含む植物を対象とする。

#### 4. 対象となる地域

日本全域を対象とする。

#### 5. 開始の結論

本細菌を開始点とし、その発生地域から輸入される植物を経路とした日本全域を対象とする病害虫リスクアナリシスを開始する。

## 第2 病害虫リスク評価（ステージ2）

### 1. 有害動植物の類別

ステージ1で特定された有害動植物について、国内における発生及び公的防除の有無、定着及びまん延の可能性並びに経済的影響を及ぼす可能性について調査し、検疫有害動植物の定義内の要件を満たしているかどうかを検討する。なお、検疫有害動植物の基準を満たしていない場合は、それが判明した時点で評価を中止し病害虫のリスクは「無視できる」とする。

#### (1) 有害動植物の国内での発生の有無及び公的防除の有無等

*Xylella fastidiosa* は国内未発生である。

#### (2) 定着及びまん延の可能性の評価

本細菌の宿主植物であるブドウは 47 都道府県で栽培されていることから、国内に定着及びまん延する可能性があるかと判断する。

#### (3) 経済的影響を及ぼす可能性

本細菌の感染により、宿主植物の木部道管内、根、茎及び葉内で本細菌が増殖・凝集、チロースや粘着物の形成により道管を詰まらせ、葉焼けや枝枯れ、芽の発育不良等を引き起こす。アメリカ合衆国、ブラジル等で本細菌による経済的損失が報告されている。アメリカ合衆国ではブドウが本細菌に感染し、発生地域では感受性品種から抵抗性品種へ栽培品種を植え替える等、栽培に影響が出ている。また、ブラジルでは南部でミカン属に被害報告があり、感染地域の商業用果樹で 44～63%が感染し、減産の原因となっている。

現在、本細菌は国内未発生であるが、本細菌の宿主植物であるブドウは、47 都道府県で栽培されているため、本細菌が国内に入り込み、定着及びまん延した場合、経済的影響を及ぼす可能性がある。

#### (4) 評価にあたっての不確実性

特になし。

#### (5) 有害動植物の類別の結論

本細菌は国内未発生であるが、本細菌の宿主植物であるブドウは 47 都道府県で栽培されていることから、本細菌が国内に定着及びまん延する可能性がある。また本細菌は、発生国において、果樹に葉焼けや枝枯れ、芽の発育不良等を引き起こし、果実の減産の原因となる被害が報告されている。そのため、国内でも経済的影響を及ぼす可能性は否定できない。

したがって、本細菌は、ISPM 11「検疫有害動植物に関する病害虫リスクアナリシス」に規定された検疫有害動植物の要件を満たすことから、本細菌に対するリスクアナリシスを実施するため、引き続き「2. 農業生産等への影響の評価」で評価を行う。

## 2. 農業生産等への影響の評価

### (1) 定着の可能性の評価

#### ア リスクアナリシスを実施する地域における潜在的検疫有害動植物の生存の可能性

##### (ア) 潜在的検疫有害動植物の生存の可能性

本細菌の感染部位は周年で存在することから、低温、乾燥等の不良環境下でも生存可能と考える。

##### (イ) リスクアナリシスを実施する地域における中間宿主の利用可能性

本細菌は、中間宿主が必須との情報は得られていない。

##### (ウ) 潜在的検疫有害動植物の繁殖戦略

本細菌は有害植物であるため、評価基準に基づき5点と評価した。

#### イ リスクアナリシスを実施する地域における寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性

##### (ア) 寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性

本細菌の主要な宿主植物であるブドウは、47都道府県で生産されている。ミカン属は東北以南（宮城県及び山形県）に分布している。サクラ属は街路樹、自生木を含めて全国に分布している。コナラ属は、沖縄県以外の全国に自生していることから、評価基準に基づき5点と評価した。

##### (イ) 潜在的検疫有害動植物の寄主又は宿主範囲の広さ

本細菌が宿主とする植物の科は、ブドウ科、アカザ科、イネ科を含む数十科が知られている。

##### (ウ) 有害動植物の侵入歴

本細菌は、東洋区、旧北区、新北区及び新熱帯区の4区に分布する。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

#### ウ 定着の可能性の評価結果

評価した項目の平均から、定着の可能性の評価点は5点満点中の4.7点となった。

### (2) まん延の可能性の評価

#### ア 自然分散（自然条件における潜在的検疫有害動植物の分散）

##### (ア) ベクター以外による伝搬

###### a 移動距離

本細菌は、ベクター以外による伝搬は知られていない。よって、本項目は評価しない。

###### b 伝染環数

本細菌は、ベクター以外による伝搬は知られていない。よって、本項目は評価しない。

##### (イ) ベクターによる伝搬

###### a ベクターの移動距離

本細菌は、ヨコバイ等（日本既発生の種を含む）のベクターによる分散が知られている。ベクターによる飛翔距離は100mまでであるが、風によって長距離移動をすることができる。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

###### b 伝搬様式

本細菌は、ベクターの口器に付着し、吸汁加害する際に直接伝搬する。また、ベクターの体内で増殖し、成虫では永続的に伝搬されることが知られている。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

## イ 人為分散

### (ア) 農作物を介した分散

本細菌の主要な宿主植物であるブドウは、47 都道府県で栽培されている。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

### (イ) 非農作物を介した分散

本細菌は非農作物を介した分散は知られていない。よって、本項目は評価しない。

## ウ まん延の可能性の評価結果

評価した項目の平均から、まん延の可能性の評価点は5点満点中の5点となった。

## (3) 経済的重要性の評価

### ア 直接的影響

#### (ア) 影響を受ける農作物又は森林資源

本細菌の宿主植物であるナシ、ブドウ、ミカン、モモ等の農産物算出額は6,655.4 億円である。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

#### (イ) 生産への影響

本細菌に感染したブドウ(永年作物)は、品種や樹齢によるが1～数年以内に枯死する。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

#### (ウ) 防除の困難さ

本細菌に対しての実用的な防除方法は、健全な穂木の生産である(一度ほ場に侵入すると防除は困難)。

#### (エ) 直接的影響の評価結果

上記(ア)及び(イ)の評価点の積は20点となり、評価基準に基づき直接的影響の評価点は4点となった。

### イ 間接的影響

#### (ア) 農作物の政策上の重要性

本細菌の宿主植物であるナシ、ブドウ、ミカン及びモモは「農業保険法」及び「同法施行令」並びに「果樹農業振興特別措置法施行令」で定める農作物である。よって、評価基準に基づき1点と評価した。

#### (イ) 輸出への影響

大韓民国は、本細菌の発生国で生産された栽植用ブドウ属植物等の輸入を禁止している。よって、評価基準に基づき1点と評価した。

## ウ 経済的重要性の評価結果

直接的影響の評価結果の得点と間接的影響の得点の和から、経済的重要性の評価点は5点となった。

## (4) 評価における不確実性

特になし。

(5) 農業生産等への影響評価の結論（病害虫固有のリスク）

定着及びまん延の可能性並びに経済的重要性の3項目の評価点の積は116.7点となり、本細菌の農業生産等への影響の評価を「高い」と結論付けた。

3. 入り込みの可能性の評価

項目	評価における判断の根拠等			
(1) 感染部位	植物全体（果実及び種子を除く。）			
(2) 国内に入り込む可能性のある経路	<p>経路は〔栽植用植物〕、〔栽植用球根類〕及び〔消費生植物〕と考えられる。</p> <p>〔栽植用種子〕については、スイートオレンジで種子伝搬が起こったという報告及び種子から実生への本細菌の伝搬は生じないとの報告がある。ペカンで種子から実生への伝搬が生じたとの報告があるが、ベクターが未成熟果（殻の道管）を食害したことによる感染である可能性が示唆されている。その他の宿主植物については種子伝搬に関する情報は確認できなかった。また、欧州食品安全機関（EFSA）は入り込みの可能性の結論から栽植用種子を除外している。これらのことから、〔栽植用種子〕については経路から除外した。</p> <p>〔消費生植物〕のうち、果実については、果実からの感染事例が知られていないため、経路から除外した。</p>			
		用途	部位	経路となる可能性
	ア	栽植用植物	葉、枝、幹（茎）、根	○
	イ	栽植用球根類	球根	○
	ウ	消費生植物	葉、枝、幹（茎）、根	○
(3) 宿主植物の輸入検査量	別紙3参照			

(4) 入り込みの可能性の評価

ア 栽植用植物及びイ 栽植用球根類

(ア) 輸送中の生き残りの可能性（加工処理に耐えて生き残る可能性）

栽植用植物及び栽植用球根類は、原産地で有害植物の生存に影響を与えるような加工処理は実施されていないことから、本細菌が通常輸送中問題なく生き残る可能性が高い。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ

本細菌は有害植物であり、無症状で感染している場合がある。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性

栽植用植物及び栽植用球根類は、直接栽培施設、ほ場等へ持ち込まれる。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性

栽植用植物及び栽植用球根類は、栽植用として利用されることで入り込みが完了する。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

- (オ) 評価における不確実性  
特になし。

**栽植用植物及び栽植用球根類の入り込みの可能性の評価の結論**

評価を行った項目の得点から平均値は5点であり、本細菌の栽植用植物及び栽植用球根類を経路とした場合の入り込みの可能性の評価を「高い」と結論付けた。

**ウ 消費用生植物**

- (ア) 輸送中の生き残りの可能性（加工処理に耐えて生き残る可能性）

原産地で本細菌の生存率に影響を与える加工処理等は実施されていない。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

- (イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ

本細菌は有害植物であり、無症状で感染している場合がある。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

- (ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性

本細菌の宿主植物であるブドウ属は47都府県で植栽又は商業的に栽培されているため、人口比は1.000となる。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

- (エ) 輸入品目からの自然分散の可能性

本細菌に感染した宿主植物が輸入された場合、当該植物から国内に存在する宿主植物への自然分散の方法はベクターであるホソアワフキ（国内既発生）による分散が考えられるが、消費用生植物は通常栽培地ではなく消費地へ運ばれ当該ベクターによって自然分散する機会は低いため、本細菌が消費用植物から自然分散する可能性は無視できる。よって、評価基準に基づき「評価中止」となる。

- (オ) 評価における不確実性

消費用生植物のうち切り枝又は切り花を経路とした場合、本来の用途ではない栽培目的で使用される可能性がある。

**消費用生植物の入り込みの可能性の評価の結論**

本細菌の消費用生植物を経路とした場合の入り込みの可能性の評価を「無視できる」と結論付けた。

**4. *Xylella fastidiosa* の病害虫リスク評価の結論**

本細菌は検疫有害植物であり、栽植用植物、栽植用球根類及び消費用生植物を経路として入り込む可能性がある」と評価した。

農業生産等への影響評価の結論 (病害虫固有のリスク)	入り込みの可能性の評価		病害虫リスク評価の結論
	用途	結論	
高い	ア 栽植用植物	高い	高い
	イ 栽植用球根類	高い	高い
	ウ 消費用生植物	無視できる	無視できる

### 第3 病害虫リスク管理（ステージ3）

病害虫リスク評価の結果、*Xylella fastidiosa* はリスク管理措置が必要な検疫有害植物であると判断されたことから、ステージ3において、発生国からの宿主植物の輸入に伴う本細菌の入り込みのリスクを低減するための適切な管理措置について検討する。

#### 1. *Xylella fastidiosa* に対するリスク管理措置の選択肢の検討

選択肢	方法	有効性及び実行可能性の検討	実施主体 (時期)	有効性	実行 可能性
① 病害虫無発生地域、生産地又は生産用地の設定及び維持	ISPM 4 又は 10 の規定に基づき設定及び維持する。	〔有効性〕 ●ISPMに基づき輸出国植物防疫機関が設定、管理及び維持する病害虫無発生地域、生産地又は生産用地であって、ベクターの管理ができれば有効である。  〔実行可能性〕 ●輸出国において適切に管理されること（ベクターの管理を含む。）が必要であるが、実行可能と考えられる。	輸出国 (輸出前)	○	○
② システムズアプローチ	ISPM 14 に基づき実施する。	複数の管理措置の組み合わせであるシステムズアプローチの有効性及び実行可能性については、具体的に提案される管理措置の内容を検討する必要がある。	輸出国 (輸出前)	—	—
③ 栽培地検査	栽培期間中に生育場所において植物の症状等を観察する。	〔有効性〕 ●栽培期間中に症状を明瞭に現す場合は有効である。 ●主にブドウ、ミカン属及びモモに被害が発生しており、栽培期間中に植物の葉焼け、発育不良、葉の萎黄症状等の症状を現す。 ●しかし、系統によっては特定の宿主植物に症状を現さない場合や、症状を現す場合でも長期間を要する場合があるため、栽培期間中の検査の効果は限定的である。	輸出国 (栽培中)	▽	○

		<p>〔実行可能性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●輸出国においてベクターの適切な防除が実施されるとともに、適切な検査が行われる必要があるが、実行可能と考えられる。</li> </ul>			
④精密検定	血清学的診断法、遺伝子診断法等による精密検定を実施する。	<p>〔有効性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ELISA 法等の市販されている抗血清の利用により容易に検定が可能である。</li> <li>●PCR 法により精度の高い検出が可能である。</li> <li>●なお、系統によっては、特定の宿主植物に症状を示さない場合や無症状の宿主植物が報告されているが、展葉期に無症状の植物体を含め無作為にサンプリングを行うことにより本細菌の検出が可能である。</li> <li>●しかし、輸入時の精密検定については、本細菌が最初に感染するのが新葉であるとの報告があることから、輸入時に展葉していない宿主植物の検定効果は限定的である。</li> </ul> <p>〔実行可能性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●輸出入国において検定施設を有するとともに、ELISA キット、特異的なプライマー及びポジティブコントロールが必要であるが、実行可能と考えられる。</li> </ul>	<p>輸出国 (輸出前)</p> <p>輸入国 (輸入時)</p>	○	○
⑤検査証明書への追記	輸出国での目視検査の結果、本細菌に感染していないことを確認し、その旨を検査証明書に追	<p>〔有効性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主にブドウ、ミカン属及びモモに被害が発生しており、葉焼け、発育不良、葉の萎黄症状等の症状を現すことから有効である。</li> <li>●しかし、系統によっては特定の宿主植物に症状を現さ</li> </ul>	輸出国 (輸出時)	▽	○

	記する。	<p>ない場合や、症状を現す場合でも長期間を要する場合があることから、効果は限定的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本細菌のベクターであるヨコバイ科、アワフキムシ科及びセミ科の害虫類の幼虫や成虫（卵は経路とならない。）については、宿主植物に付着している可能性があるが、目視で確認できる。</li> </ul> <p>[実行可能性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●輸出国において適切な検査が行われることが必要であるが、実行可能と考えられる。</li> </ul>			
⑥輸出入検査（目視検査）	植物の症状等を確認する。	<p>[有効性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主にブドウ、ミカン属及びモモに被害が発生しており、葉焼け、発育不良、葉の萎黄症状等の症状を現すことから有効である。</li> <li>●しかし、系統によっては特定の宿主植物に症状を現さない場合や、症状を現す場合でも長期間を要する場合があることから、効果は限定的である。</li> <li>●本細菌のベクターであるヨコバイ科、アワフキムシ科及びセミ科の害虫類の幼虫や成虫（卵は経路とならない。）については、宿主植物に付着している可能性があるが、目視で確認できる。</li> </ul> <p>[実行可能性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●輸出入国において通常実施されている検査であり、実行可能である。</li> </ul>	<p>輸出国 (輸出時)</p> <p>▽</p> <p>○</p> <p>輸入国 (輸入時)</p> <p>▽</p> <p>○</p>		
⑦隔離栽培中の検査	輸入後、国内の施設において一定期	<p>[有効性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●症状発現まで時間を要する場合でも、栽培施設で適切</li> </ul>	<p>輸入国 (輸入後)</p> <p>○</p> <p>▽ (カタ</p>		

	<p>間栽培し、生物検定や精密検定を実施する。</p>	<p>に管理（ベクターの管理を含む。）することにより、検査が可能である。</p> <p>●隔離期間中に症状を診断し、精密検定等により検出が可能である。</p> <p>〔実行可能性〕</p> <p>●多年生植物は、隔離栽培中の検査が実行可能であるが、隔離栽培ができる施設が限られており、検査できる数量等が制限される。そのため、隔離栽培運用基準（農林省, 1968）に規定されていない宿主植物を新たに隔離栽培する場合は、隔離施設の設備及び栽培管理のための条件を整える必要があることから、限定条件下で実行可能である。</p> <p>●カラタチ属、キイチゴ属、キンカン属、サクラ属、ナシ属、ブドウ属及びミカン属の栽植用植物は、同運用基準で対象としているため、実行可能である。</p>		<p>チ属、キイチゴ属、キンカン属、サクラ属、ナシ属、ブドウ属及びミカン属の栽植用植物○)</p>
--	-----------------------------	---	--	---

- 有効性 ○：効果が高い  
▽：限定条件下で効果がある  
×：効果なし  
－：検討しない
- 実行可能性 ○：実行可能  
▽：限定条件下で実行可能  
×：実行困難  
－：検討しない

## 2. 経路ごとの *Xylella fastidiosa* に対するリスク管理措置の選択肢の特定

### (1) 栽植用植物及び栽植用球根類

#### ア 検討結果

病害虫無発生地域、生産地又は生産用地の設定及び維持（選択肢①）は、本細菌の入り込みのリスクに対しては有効な管理措置である。しかしながら、本細菌のベクターであるヨコバイ科、アワフキムシ科及びセミ科に対する管理が必要である。また、病害虫無発生地域等の設定及び維持は、宿主植物の栽培環境、病害虫管理等を含む各種要因に影響を受けるため、個別案件ごとに具体的な内容を輸出国植物防疫機関が示し、日本がその許諾を判断する

必要がある。

精密検定（選択肢④）は、本細菌を特異的に検出する PCR 法等が報告されている。また、ELISA 法等の血清学的診断法により、植物体から特異的に本細菌を検出可能であり、ELISA キットも市販されていることから、有効かつ実行可能な管理措置である。しかし、輸入時の精密検定については、本細菌が最初に感染するのが新葉であるとの報告があることから、輸入時に展葉していない宿主植物の検定効果は限定的である。したがって、輸出前の精密検定が有効かつ実行可能な管理措置であると考える。

#### イ リスク管理措置の特定

栽植用植物及び栽植用球根類に対する管理措置として、本細菌の入り込みのリスクを低減させることが可能であり、かつ必要以上に貿易制限的でないことを考慮し、以下の選択肢を特定した。

- 輸出国（輸出前）において、荷口全体（同一の荷口単位）の植物を対象に輸入植物検疫規程（農林省, 1950b）別表第 1 の 6 項 2 号の規定に基づく検査相当量について、展葉期に目視検査及び ELISA 法等の適切な血清学的診断法又は PCR 法等の適切な遺伝子診断法による検定を行い、本細菌に感染していないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。

輸入植物検疫規程（農林省, 1950b）別表第 1 の 6 項 2 号

検査荷口の大きさ		検査する数量
1,000 本未満		30%以上
1,000 本以上	1,841 本未満	300 本以上
1,841 本以上	4,601 本未満	400 本以上
4,601 本以上	9,201 本未満	500 本以上
9,201 本以上	24,001 本未満	600 本以上
24,001 本以上		800 本以上

### 3. *Xylella fastidiosa* の病害虫リスク管理の結論

経路ごとにリスク管理措置の選択肢を検討した結果、本細菌の入り込みのリスクを低減させる効果があり、かつ必要以上に貿易制限的でないと判断した各経路の管理措置を以下にとりまとめた。

経路（対象部位）	対象植物	リスク管理措置
栽植用植物（種子及び果実を除く。）及び栽植用球根類	別紙 2 参照。	○ 輸出国（輸出前）において、展葉期に目視検査及び ELISA 法等の適切な血清学的診断法又は PCR 法等の適切な遺伝子診断法による検定を行い、本細菌に感染していないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。

なお、輸出国から上記の管理措置以外の提案があった場合は、その内容を検討し、上記の管理措置と同等のものであるかを判断する必要がある。

*Xylella fastidiosa* の発生国等の根拠

国又は地域	ステータス	根拠文献	備考
アジア			
台湾	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
中東			
イスラエル	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
イラン	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
欧州			
イタリア	発生	CABI, 2023; Carlucci et al., 2013; EPPO GDB, 2023; Giampetruzzi et al., 2017	
スペイン	発生	CABI, 2023; EFSA, 2018; EPPO, 2023; XF-ACTORS, 2018	
スペイン (バレアレス諸島)	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
フランス	発生	CABI, 2023; EFSA, 2015, 2018; EPPO GDB, 2020, 2023	
フランス (コルシカ島)	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
ポルトガル	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	追加
北米			
アメリカ合衆国	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
カナダ	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
中南米			
アルゼンチン	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
エクアドル	発生	EFSA, 2015; Legendre et al., 2014	
コスタリカ	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
パラグアイ	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
ブラジル	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
ベネズエラ	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	
メキシコ	発生	CABI, 2023; EPPO GDB, 2023	

注) 備考欄の「追加」は、文献情報等に基づき令和6(2024)年2月19日改訂時に追加した国又は地域。

## Xylella fastidiosa の宿主植物の根拠

科名	学名	シノニム	和名		英名	根拠文献	備考
			属名	種名			
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus</i> sp.		フヨウ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus fragilis</i>		フヨウ属			EFSA, 2020	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus rosa-sinensis</i>		フヨウ属	ブツソウゲ	blackening plant, china rose, chinesehibiscus, hawaiian hibiscus, rose-of-china	EFSA, 2020	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus schizopetalus</i>		フヨウ属	フウリンブツソウゲ	fringed hibiscus	EFSA, 2016, 2020; CABI, 2023	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Hibiscus syriacus</i>		フヨウ属	ムクゲ	shrubby althaea, shrub althaea, rose of sharon	EFSA, 2015, 2016	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Lavatera cretica</i>	<i>Malva multiflora</i>	ハナアオイ属	ラヴァテラ・クレティカ	cornish mallow	EFSA, 2022	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Malva parviflora</i>		ゼニアオイ属	マルウァ・パルウィフロラ	cheeseweed	CABI, 2023; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	

アオイ科 (Malvaceae)	<i>Modiola caroliniana</i>		モディオラ 属	モディオラ・ カロリニア ナ		EFSA, 2016, 2020	
アオイ科 (Malvaceae)	<i>Sida rhombifolia</i>		キングジカ 属	キングジカ	tea plant	De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Atriplex</i> sp.		ハマアカザ 属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Chenopodium murale</i>	<i>Chenopodium murale</i>	ウスバアカ ザ属	ミナトアカ ザ		Costello et al., 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Chenopodium album</i>		アカザ属	シロザ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
アカザ科 (Chenopodiaceae)	<i>Dysphania ambrosioides</i>	<i>Chenopodium ambrosioides</i>	アリタソウ 属	アリタソウ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea</i>		コーヒーノ キ属			CABI, 2023; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i>		コーヒーノ キ属	アラビアコ ーヒー	arabica coffee	CABI, 2023; EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i> × <i>Coffea</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i> × <i>Coffea canephora</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i> × <i>Coffea eugenioides</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea arabica</i> × <i>Coffea liberica</i> var. <i>dewevrei</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	

アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea canephora</i>		コーヒーノ キ属	カネフォー ラ	robusta coffee	EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea eugenioides</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea kapakata</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea liberica</i>		コーヒーノ キ属	リベリアコ ーヒー	Liberian coffee	EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea liberica</i> var. <i>dewevrei</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2023	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea racemosa</i>		コーヒーノ キ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coffea stenophylla</i>		コーヒーノ キ属	コフェア・ス テノフィラ		EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coprosma repens</i>	<i>C. baueri</i>	コプロスマ 属	コプロスマ・ レペンス	mirror plant	Costa et al., 2004; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Groenteman et al., 2015	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Coprosma robusta</i>		コプロスマ 属	コプロスマ・ ロブスタ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Richardia</i> sp.		ハシカグサ モドキ属			EFSA, 2020	
アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Richardia brasiliensis</i>		ハシカグサ モドキ属	リカルディ ア・ブラジリ エンシス		CABI, 2023; EFSA, 2016	

アカネ科 (Rubiaceae)	<i>Spermacoce latifolia</i>	<i>S. alata, Borreria latifolia</i>	スペルマコセ属	スペルマコセ・ラティフォリア	broadleaf buttonweed	EFSA, 2016, 2020	
アカバナ科 (Onagraceae)	<i>Fuchsia magellanica</i>		フクシア属	フクシア・マゲラニカ	ladies ear, hardy fuchsia	EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
アカバナ科 (Onagraceae)	<i>Ludwigia grandiflora</i>		チョウジタデ属	ルドヴィギア・グランディフロラ	water primrose	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Brassica sp.</i>		アブラナ属			CABI, 2023; Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Brassica nigra</i>		アブラナ属	ブラシカ・ニグラ(クロガラシ)		EFSA, 2016, 2020	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Capsella bursa-pastoris</i>		ナズナ属	ナズナ	shepherd's purse	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Erysimum</i>		エリシムム属			EPPO GDB, 2020	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Erysimum hybrids</i>		エリシムム属			EFSA, 2020	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Lepidium auriculatum</i>		マメゲンバイナズナ属 (コショウソウ属)			De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	

アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Lepidium didymum</i>	<i>Coronopus didymus</i>	マメゲンバ イナズナ属 (コショウ ソウ属)	コロノプス・ ディディム ス		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Krugner et al., 2012	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Lepidium ruderale</i>		マメゲンバ イナズナ属 (コショウ ソウ属)			EFSA, 2023	
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Raphanus sativus</i>		ダイコン属	ダイコン	radish	EFSA, 2023	追加
アブラナ科 (Cruciferae)	<i>Sisymbrium irio</i>		キハナハタ ザオ属	シシンプリ ウム・イリオ	London rocket	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020;	
アリノトウグサ科 (Haloragaceae)	<i>Halragis erecta</i>		アリノトウ グサ属	ハロラギス・ エレクタ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
イチョウ科 (Ginkgoaceae)	<i>Ginkgo biloba</i>		イチョウ属	イチョウ	maidenhair tree, ginkgo	CABI, 2023; EFSA, 2020; Harris et al., 2014	
イネ科(Gramineae)	<i>Agrostis gigantea</i>		アグロステ イス属	コヌカグサ	redtop	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Avena fatua</i>		カラスムギ 属	カラスムギ	wild oat	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Axonopus compressus</i>		ツルメヒシ バ属	ツルメヒシ バ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Brachiaria decumbens</i>	<i>Urochloa decumbens</i>	ニクキビ属 (ウロクロ ア属)			CABI, 2023; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	

イネ科(Gramineae)	<i>Brachiaria plantaginea</i>	<i>Urochloa plantaginea</i>	ニクキビ属 (ウロクロア属)			CABI, 2023; EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
イネ科(Gramineae)	<i>Bromus sp.</i>		スズメノチャヒキ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Bromus diandrus</i>	<i>Anisantha diandra</i>	スズメノチャヒキ属(アニサンサ属)	ヒゲナガスズメノチャヒキ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Bromus rigidus</i>	<i>Anisantha rigida</i>	スズメノチャヒキ属(アニサンサ属)			EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Cenchrus echinatus</i>		クリノイガ属	シンクリノイガ	southern sandbur	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Chloris halophila</i>		オヒゲシバ属	クロリス・ハロフィラ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Coelorachis cylindrica</i>		セロラキス属	コエロラキス・キリンドリカ		EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Cortaderia selloana</i>	<i>C. argentea</i>	シロガネヨシ属	シロガネヨシ		EFSA, 2023	追加
イネ科(Gramineae)	<i>Cynodon</i>		ギョウギシバ属			CABI, 2023	

イネ科(Gramineae)	<i>Cynodon dactylon</i>		ギョウギシ バ属	ギョウギシ バ	Bermuda grass	CABI, 2023; Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Freitag, 1951; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Digitaria</i> sp.		メヒシバ属			CABI, 2023; De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; Leite et al., 1997;	
イネ科(Gramineae)	<i>Digitaria horizontalis</i>		メヒシバ属	ディギタリ ア・ホリゾン タリス		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Digitaria insularis</i>		メヒシバ属	ディギタリ ア・インスラ リス		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Digitaria sanguinalis</i>		メヒシバ属	ディギタリ ア・サングイ ナリス	weeping love grass	EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Echinochloa crus-galli</i>		ヒエ属	イヌビエ	barnyard grass	CABI, 2023; Costello et al., 2017; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Eleusine indica</i>		オヒシバ属	オヒシバ		EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Eriochloa contracta</i>		ナルコビエ 属	アメリカノ キビ	prairie cupgrass	CABI, 2023; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	

イネ科(Gramineae)	<i>Hordeum murinum</i>		オオムギ属	ムギクサ	mouse barley	CABI, 2023; Costello et al., 2017; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Lolium multiflorum</i>		ドクムギ属	ネズミムギ	Italian rye-grass	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Leite et al., 1997	
イネ科(Gramineae)	<i>Lolium perenne</i>		ドクムギ属	ホソムギ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Panicum acuminatum</i>		キビ属	ニコゲヌカ キビ		EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Panicum maximum</i>	<i>Megathyrsus maximus</i>	キビ属(メガ シルスス属)	ギネアキビ	guinea grass	CABI, 2023	
イネ科(Gramineae)	<i>Paspalum</i>		スズメノヒ エ属			CABI, 2023	
イネ科(Gramineae)	<i>Paspalum dilatatum</i>		スズメノヒ エ属	シマスズメ ノヒエ	tall paspalum	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
イネ科(Gramineae)	<i>Paspalum regnellii</i>		スズメノヒ エ属			De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Paspalum urvillei</i>		スズメノヒ エ属	タチスズメ ノヒエ		EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
イネ科(Gramineae)	<i>Pennisetum clandestinum</i>		チカラシバ 属			EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
イネ科(Gramineae)	<i>Pennisetum glaucum</i>	<i>P. americanum</i>	チカラシバ 属	トウジンビ エ	pearl millet	EFSA, 2015, 2016, 2020	

イネ科(Gramineae)	<i>Phalaris angusta</i>		クサヨシ属	ファラリス・ アングスタ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Poa annua</i>		イチゴツナ ギ属	スズメノカ タビラ	annual meadowgrass	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
イネ科(Gramineae)	<i>Setaria magna</i>		エノコログ サ属	セタリア・マ グナ	giant bristlegress	EFSA, 2016, 2020	
イネ科(Gramineae)	<i>Sorghum halepense</i>		モロコシ属	セイバンモ ロコシ	Johnson grass	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
イノモトソウ科 (Pteridaceae)	<i>Pteridium aquilinum</i>		ワラビ属	プテリディ ウム・アクイ リヌム	bracken	EFSA, 2022	
イラクサ科 (Urticaceae)	<i>Urtica urens</i>		イラクサ属	ヒメイラク サ	annual nettle	CABI, 2023; EFSA, 2020	
イワタバコ科 (Gesneriaceae)	<i>Streptocarpus</i>		ストレプト カルパス属			EPPO GDB, 2020	
イワタバコ科 (Gesneriaceae)	<i>Streptocarpus hybrids</i>		ストレプト カルパス属			EFSA, 2020	
ウコギ科(Araliaceae)	<i>Fatsia japonica</i>		ヤツデ属	ヤツデ	Japanese- aralia	EFSA, 2020	
ウコギ科(Araliaceae)	<i>Hedera helix</i>		キヅタ属	セイヨウキ ヅタ	English ivy	CABI, 2023; Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
ウコギ科(Araliaceae)	<i>Meryta sinclairii</i>		メリタ属	メリタ・シン クライリー		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	

ウリ科 (Cucurbitaceae)	<i>Diplocyclos palmatus</i>	<i>Bryonopsis laciniosa</i>	ブリオノプ シス属	オキナウス ズメウリ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Su et al., 2013	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Pistacia vera</i>		トネリバハ ゼノキ属	ピスタシオ ノキ	pistachio	CABI, 2023; Costa et al.,2004; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Rhus sp.</i>		ウルシ属			EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Rhus diversiloba</i>		ウルシ属	ルス・ディベ ルシロバ		EFSA, 2016, 2020	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Schinus molle</i>		サンショウ モドキ属	コショウボ ク	Peruvian pepper	CABI, 2020; Costa et al.,2004; EFSA, 2015, 2016	
オオバコ科 (Plantaginaceae)	<i>Plantago lanceolata</i>		オオバコ属	ヘラオオバ コ	ribwort plantain	CABI, 2023; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
オオバコ科 (Plantaginaceae)	<i>Plantago major</i>		オオバコ属	オニオオバ コ、セイヨウ オオバコ		EFSA, 2023	追加
オシダ科 (Aspidiaceae)	<i>Athyrium filix-femina</i>		メシダ属	セイヨウメ シダ	lady fern	EFSA,2022	
オシロイバナ科 (Nyctaginaceae)	<i>Boerhavia diffusa</i>		ナハカノコ ソウ属	ナハカノコ ソウ		EFSA, 2020	
オトギリソウ科 (Guttiferae)	<i>Hypericum androsaemum</i>		オトギリソ ウ属	ヒペリクム・ アンドロサ エムム		EFSA, 2023	追加

オトギリソウ科 (Guttiferae)	<i>Hypericum perforatum</i>	<i>H. officinale</i>	オトギリソウ属	ヒペリクム・ペルフォラツム		EFSA,2022	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer</i>		カエデ属	カエデ属		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer griseum</i>		カエデ属	グリセウムカエデ	paper-bark maple	EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer macrophyllum</i>		カエデ属	ヒロハカエデ	big-leaf maple, canyon maple, Oregon maple	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer negundo</i>		カエデ属	トネリコバノカエデ、ネグンドカエデ	ash-leaved maple, box elder	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer platanoides</i>		カエデ属	ノルウエーカエデ、ヨーロッパカエデ	Norway maple	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer pseudoplatanus</i>		カエデ属	セイヨウカジカエデ	mock plane, sycamore maple	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer rubrum</i>		カエデ属	アメリカハナノキ、ベニカエデ	red maple	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Nunney et al., 2013	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer saccharum</i>		カエデ属	サトウカエデ	hard maple, sugar maple	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	

カキノキ科 (Ebenaceae)	<i>Diospyros kaki</i>		カキノキ属	カキ	kaki, persimmon	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
カバノキ科 (Betulaceae)	<i>Alnus rhombifolia</i>		ハンノキ属	アルヌス・ロ ンビフォリ ア	white alder	EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
カヤツリグサ科 (Cyperaceae)	<i>Carex</i> sp.		スゲ属			CABI, 2023; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
カヤツリグサ科 (Cyperaceae)	<i>Cyperus</i> sp.		カヤツリグ サ属			CABI, 2023; Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
カヤツリグサ科 (Cyperaceae)	<i>Cyperus eragrostis</i>		カヤツリグ サ属	メリケンガ ヤツリ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>	<i>A. artemisiifolia var. elatior</i>	ブタクサ属	ブタクサ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia psilostachya</i>		ブタクサ属	アンブロシ ア・プシロス タキア		EFSA, 2018, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia trifida</i>		ブタクサ属	アンブロシ ア・トリフィ ダ		EFSA, 2016, 2018, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Ambrosia trifida</i> var. <i>texana</i>		ブタクサ属			EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Argyranthemum frutescens</i>	<i>Chrysanthemum frutescens</i>	キク属	マーガレッ ト	marguerite	EFSA, 2022	
キク科(Compositae)	<i>Artemisia</i> sp.		ヨモギ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	

キク科(Compositae)	<i>Artemisia absinthium</i>		ヨモギ属	ニガヨモギ		EFSA, 2023	
キク科(Compositae)	<i>Artemisia arborescens</i>		ヨモギ属	アルテミシア・アルボレスケンス		DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
キク科(Compositae)	<i>Artemisia douglasiana</i>		ヨモギ属	アルテミシア・ダグラスアナ	mugwort	EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951; Janse and Obradovic, 2010; Nunney et al., 2013	
キク科(Compositae)	<i>Baccharis</i>		バッカリス属			EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Baccharis halimifolia</i>		バッカリス属			CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
キク科(Compositae)	<i>Baccharis pilularis</i>		バッカリス属			CABI, 2023; Costa et al., 2004; EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
キク科(Compositae)	<i>Baccharis salicifolia</i>		バッカリス属			EFSA, 2015, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Bidens pilosa</i>		センダングサ属	コセンダングサ	Spanish needle	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Brachyglottis</i> sp.		ブラキグロツティス属			EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	

キク科(Compositae)	<i>Calocephalus brownii</i>		カロケファ ルス属			EFSA, 2023	追加
キク科(Compositae)	<i>Calyptocarpus biaristatus</i>	<i>Blainvillea biaristata</i>	カリプトカ ルプス属	カリプトカ ルプス・ビア リスタツス		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Dittrichia viscosa</i>		ディトリキ ア属			EFSA, 2023	追加
キク科(Compositae)	<i>Encelia farinosa</i>		エンケリア 属	エンケリア・ ファリノサ	brittlebush	Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron</i> sp.		ムカシヨモ ギ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron bonariensis</i>	<i>Conyza bonariensis</i>	ムカシヨモ ギ属(コニザ 属)	アレチノギ ク		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron canadensis</i>	<i>Conyza canadensis</i>	ムカシヨモ ギ属(コニザ 属)	ヒメムカシ ヨモギ		Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron karvinskianus</i>	<i>E. mucronatus</i>	ムカシヨモ ギ属	ペラペラヨ メナ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Erigeron sumatrensis</i>	<i>Conyza albida</i>	ムカシヨモ ギ属(コニザ 属)	オオアレチ ノギク		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Eriocephalus africanus</i>		エリオケフ アルス属			EFSA, 2023	追加
キク科(Compositae)	<i>Euryops chrysanthemoides</i>		エウリオプ ス属	エウリオプ ス・クリサン テモイデス		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; PACA, 2018	

キク科(Compositae)	<i>Euryops pectinatus</i>		エウリオプ ス属	エウリオプ ス・ペクティ ナツス	gray-leaved ruryops	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Facelis retusa</i>		キヌゲチチ コグサ属	キヌゲチチ コグサ		EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
キク科(Compositae)	<i>Gazania rigens</i>		ガザニア属			EFSA, 2023	追加
キク科(Compositae)	<i>Helianthus</i> sp.		ヒマワリ属			EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Helianthus annuus</i>		ヒマワリ属	ヒマワリ	sunflower	EFSA, 2016, 2018, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Helichrysum</i> sp.		ヘリクリス ム属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Helichrysum italicum</i>		ヘリクリス ム属	ヘリクリス ム・イタリク ム		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Helichrysum stoechas</i>		ヘリクリス ム属	ヘリクリス ム・ストエカ ス		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Heterotheca grandiflora</i>		アレチオグ ルマ属	ヘテロテカ・ グランディ フロラ	telegraph weed	Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Hypochaeris brasiliensis</i>		エゾコウゾ リナ属	ヒポカエリ ス・ブラシリ エンシス		EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
キク科(Compositae)	<i>Iva annua</i>		イウァ属	イウァ・アン ヌア		EFSA, 2016, 2020	

キク科(Compositae)	<i>Lactuca serriola</i>		アキノノゲシ属	トゲチシャ	prickly lettuce	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Osteospermum ecklonis</i>	<i>Dimorphotheca ecklonis</i>	オステオスペルムム属 (ディモルフォテカ属)			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Osteospermum fruticosum</i>	<i>Dimorphotheca fruticosa</i>	オステオスペルムム属 (ディモルフォテカ属)	オステオスペルムム・フルティコサ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; POnTE, 2019a, b	
キク科(Compositae)	<i>Parthenium hysterophorus</i>		パルテニウム属			EFSA, 2023	追加
キク科(Compositae)	<i>Phagnalon saxatile</i>		ファグナロン属	ファグナロン・サクサチレ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Pluchea odorata</i>		ヒイラギギク属	タワダギク		EFSA, 2016, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Ratibida columnaris</i>	<i>R. columnifera</i>	ラティビダ属	ラティビダ・コルムナリス	Mexican hat flower	EFSA, 2016, 2020, 2023; EPPO GDB, 2020; Nunney et al., 2013	
キク科(Compositae)	<i>Santolina sp.</i>		サントリナ属			EFSA, 2023	
キク科(Compositae)	<i>Santolina chamaecyparissus</i>		サントリナ属	サントリナ	lavender cotton	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Santolina magonica</i>		サントリナ属	サントリナ・マゴニカ		EFSA, 2022	

キク科(Compositae)	<i>Senecio cineraria</i>	syn: <i>Jacobaea maritima</i>	セネキオ属	シロタエギク		EFSA, 2023	
キク科(Compositae)	<i>Senecio grisebachii</i>		セネキオ属			De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Senecio vulgaris</i>		セネキオ属	ノボロギク		CABI, 2020; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Silybum marianum</i>		オオアザミ属	オオアザミ	variegated thistle	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Solidago canadensis</i>		アキノキリンソウ属	カナダアキノキリンソウ	Canada goldenrod	EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Solidago fistulosa</i>		アキノキリンソウ属	ソリダゴ・フィスツローサ		EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
キク科(Compositae)	<i>Solidago virgaurea</i>		アキノキリンソウ属	ソリダゴ・ウィルガウレア	European goldenrod	EFSA, 2016, 2018, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Sonchus sp.</i>		ノゲシ属			CABI, 2023; Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
キク科(Compositae)	<i>Sonchus oleraceus</i>		ノゲシ属	ノゲシ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Symphotrichum divaricatum</i>		ハウキギク属	シンフィオトリクム・ディウアリカツム		EFSA, 2020	

キク科(Compositae)	<i>Taraxacum officinale</i>	<i>T. vulgare</i>	タンポポ属	セイヨウタンポポ	common dandelion	CABI, 2023; EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
キク科(Compositae)	<i>Vernonia</i> sp.		ヴァーノニア属			EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
キク科(Compositae)	<i>Xanthium spinosum</i>		オナモミ属	クサンティウム・スピノスム		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
キク科(Compositae)	<i>Xanthium strumarium</i>		オナモミ属	クサンティウム・ストルマリウム		EFSA, 2016, 2018, 2020	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Catharanthus</i>		ニチニチソウ属			EPPO GDB, 2020	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Catharanthus roseus</i>	<i>Vinca rosea</i>	ニチニチソウ属	ニチニチソウ	Madagascar periwinkle	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Ueno et al., 1998	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Nerium oleander</i>		キョウチクトウ属	セイヨウキョウチクトウ	common oleander	CABI, 2023; Costa et al., 2004; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2018; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Vinca</i>		ツルニチニチソウ属			DGAV, 2020; EPPO GDB, 2020; Nunney et al., 2013	

キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Vinca major</i>		ツルニチニ チソウ属	ツルニチニ チソウ	greater periwinkle	EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Vinca minor</i>		ツルニチニ チソウ属	ヒメツルニ チニチソウ	dwarf periwinkle	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
キンポウゲ科 (Ranunculaceae)	<i>Clematis cirrhosa</i>		クレマティ ス(センニン ソウ)属			EFSA, 2023	追加
キンポウゲ科 (Ranunculaceae)	<i>Clematis vitalba</i>		クレマティ ス(センニン ソウ)属	クレマティ ス・ウイタル バ	travelers joy	EFSA, 2023	追加
キンポウゲ科 (Ranunculaceae)	<i>Ranunculus repens</i>		キンポウゲ 属	ハイキンポ ウゲ	creeping buttercup	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020 ; EPPO GDB, 2020 ; EPPO, 2018 ; Merriman, 2001 ; Nunney et al., 2013	
クスノキ科 (Lauraceae)	<i>Laurus nobilis</i>		ゲッケイジ ユ属	ゲッケイジ ユ	bay laurel	EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020	
クスノキ科 (Lauraceae)	<i>Persea americana</i>		ワニナシ属	アボカド	avocado	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
クスノキ科 (Lauraceae)	<i>Sassafras sp.</i>		サッサフラ ス属			EFSA, 2020	

クスノキ科 (Lauraceae)	<i>Sassafras albidum</i>		サッサフラ ス属		sassafras	EFSA, 2020	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Callicarpa americana</i>		ヤブムラサ キ属	アメリカム ラサキシキ ブ	French mulberry	EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Duranta erecta</i>	<i>D. repens</i>	ハリマツリ 属	ハリマツリ	skyflower	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Lippia nodiflora</i>	<i>Phyla nodiflora</i>	イワダレソ ウ属	イワダレソ ウ	frogfruit	CABI, 2023; EFSA, 2015, 2016; EPPO GDB, 2020	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Verbena litoralis</i>		クマツヅラ 属	バーベナ・リ トラリス		EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Vitex agnus-castus</i>		ハマゴウ(ニ ンジンボク) 属	イタリアニ ンジンボク、 セイヨウニ ンジンボク	chaste-tree	EFSA, 2023	追加
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Vitex lucens</i>		ハマゴウ(ニ ンジンボク) 属	ウィテクス・ ルケンス		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
グミ科 (Elaeagnaceae)	<i>Elaeagnus angustifolia</i>		グミ属	ヤナギバグ ミ	wild olive	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
グミ科 (Elaeagnaceae)	<i>Elaeagnus × submacrophylla</i>		グミ属	オオバツル グミ		EFSA, 2023	追加
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya sp.</i>		ペカン属			EFSA, 2018, 2020	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya aquatica</i>		ペカン属			EFSA, 2023	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya cathayensis</i>		ペカン属	カリア・カタ イエンシス		EFSA, 2023	

クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya cordiformis</i>	<i>C. amara</i>	ペカン属	カリア・コル ディフォル ミス		EFSA, 2023	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya floridana</i>		ペカン属			EFSA, 2023	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya glabra</i>		ペカン属	カリア・グラ ブラ		EFSA, 2023	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya illinoensis</i>	<i>C. pecan</i>	ペカン属	ペカン	pecan	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Hilton et al., 2017; Nunney et al., 2013	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya laciniosa</i>		ペカン属			EFSA, 2023	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya pallida</i>		ペカン属			EFSA, 2023	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya palmeri</i>		ペカン属			EFSA, 2023	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Carya tomentosa</i>	<i>C. alba</i>	ペカン属	カリア・トメ ントサ		EFSA, 2023	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Juglans sp.</i>		クルミ属			CABI, 2023; EFSA, 2020	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Juglans californica</i>		クルミ属	ユグランス・ カリフォル ニカ		CABI, 2023; Costa et al., 2004; EFSA, 2016	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Juglans regia</i>		クルミ属	ペルシャグ ルミ	English walnut, Persian walnut	EFSA, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Frangula alnus</i>	<i>Rhamnus frangula</i>	イソノキ属	フラングラ・ アルヌス		DGAV, 2020; EPPO GDB, 2020	

クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Rhamnus</i> sp.		クロウメモ ドキ属			EFSA, 2023	追加
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Rhamnus alaternus</i>		クロウメモ ドキ属	ラムヌス・ア ラテルムス	Italian buckthorn	EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2019; FAO, 2019	
クワ科(Moraceae)	<i>Broussonetia papyrifera</i>		コウゾ属	カジノキ	paper mulberry	EFSA, 2020	
クワ科(Moraceae)	<i>Ficus carica</i>		イチジク属	イチジク	common fig	EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
クワ科(Moraceae)	<i>Humulus scandens</i>	<i>H. japonicus</i>	カラハナソ ウ属	カナムグラ		EFSA, 2016; EFSA, 2020; Su et al., 2013	
クワ科(Moraceae)	<i>Morus</i> sp.		クワ属			EFSA, 2020	
クワ科(Moraceae)	<i>Morus alba</i>		クワ属	トウグワ	white mulberry	CABI, 2023 EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Harris et al., 2014	
クワ科(Moraceae)	<i>Morus nigra</i>		クワ属	クロミグワ	black mulberry	CABI, 2023; EFSA, 2016	
クワ科(Moraceae)	<i>Morus rubra</i>		クワ属	レッドマル ベリー		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Merriman, 2001	
ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae)	<i>Hebe</i>		ヘーベ属			DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Groenteman et al., 2015	

ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae)	<i>Hebe elliptica</i>		ヘーベ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae)	<i>Veronica</i>		クワガタソ ウ属			CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae)	<i>Veronica persica</i>		クワガタソ ウ属	オオイヌノ フグリ		EFSA, 2016, 2021	
コリノカルプス科 (Corynocarpaceae)	<i>Corynocarpus laevigatus</i>		コリノカル プス属	コリノカル プス・ラエウ ィガツス		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula</i>		ラウアンド ウラ属			EFSA, 2016, 2020; EPPO, 2018	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula × allardii</i>	<i>L. heterophylla</i>	ラウアンド ウラ属			EPPO GDB, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula × chaytorae</i>		ラウアンド ウラ属			EPPO GDB, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula × heterophylla</i>		ラウアンド ウラ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula × intermedia</i>		ラウアンド ウラ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula angustifolia</i>		ラウアンド ウラ属			DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula dentata</i>		ラウアンド ウラ属	キレハラベ ンダー		CABI, 2023; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	

シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula latifolia</i>		ラウアンド ウラ属	スパイクラ ベンダー	spike lavender	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020;	
シソ科(Labiatae)	<i>Lavandula stoechas</i>		ラウアンド ウラ属			DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Leonurus sibiricus</i>		メハジキ属	ホソバメハ ジキ		EFSA, 2020; Leite et al., 1997	
シソ科(Labiatae)	<i>Marrubium vulgare</i>		ニガハッカ 属	マルビウム・ ウルガレ	white horehound	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
シソ科(Labiatae)	<i>Melissa officinalis</i>		セイヨウヤ マハッカ属	メリッサ・オ ツフィキナ リス	common balm	EFSA, 2016, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Origanum majorana</i>	<i>Majorana hortensis</i>	マジヨラム 属	オリガナム・ マヨラナ	sweet marjoram	EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
シソ科(Labiatae)	<i>Phlomis fruticosa</i>		オオキセワ タ属	フロミス・フ ルティコサ	Jerusalem sage	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Phlomis italica</i>		オオキセワ タ属			EFSA, 2023	追加
シソ科(Labiatae)	<i>Rosmarinus officinalis</i>	<i>Salvia rosmarinus</i>	ロスマリヌ ス属	マンネンロ ウ	rosemary	CABI, 2020; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Freitag, 1951	
シソ科(Labiatae)	<i>Salvia apiana</i>		サルウィア 属	サルウィア・ アピアナ		Costa et al.,2004; EFSA, 2015, 2016	

シソ科(Labiatae)	<i>Salvia mellifera</i>		サルウィア属	サルウィア・メッリフェラ		Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
シソ科(Labiatae)	<i>Salvia officinalis</i>		サルウィア属	ヤクヨウサルビア		EFSA, 2023	
シソ科(Labiatae)	<i>Stachys arvensis</i>		イヌゴマ属	ヤブチョロギ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Teucrium capitatum</i>		ニガクサ属	テウクリウム・カピタツム		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
シソ科(Labiatae)	<i>Thymus vulgaris</i>		イブキジャコウソウ属	キダチハヤクリコウ、タチジャコウソウ、タイム	common thyme	EFSA, 2023	追加
シソ科(Labiatae)	<i>Westringia fruticosa</i>		ウエストリンギア属	ウエストリンギア・フルティコサ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Saponari et al., 2014a	
シソ科(Labiatae)	<i>Westringia glabra</i>		ウエストリンギア属	ウエストリンギア・グラブラ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
シモンジア科 (Simmondsiaceae)	<i>Simmondsia chinensis</i>		シモンジア属	ホホバ	jojoba	EFSA, 2015, 2016, 2020	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Lonicera implexa</i>		スイカズラ属			EFSA, 2022	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Lonicera japonica</i>		スイカズラ属	スイカズラ	Japanese honeysuckle	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Merriman, 2001	

スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Platanus</i> sp.		スズカケノ キ属			CABI, 2023; EFSA, 2020	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Platanus occidentalis</i>		スズカケノ キ属	アメリカス ズカケノキ	buttonwood	CABI, 2023; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; Harris et al., 2014; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Platanus racemosa</i>		スズカケノ キ属	カリフォル ニアスズカ ケノキ		Costa et al., 2004; EFSA, 2015, 2016	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Portulaca oleracea</i>		スベリヒユ 属	スベリヒユ	purslane	CABI, 2023; Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus</i>		ニワトコ属	ニワトコ属		CABI, 2023; Costa et al., 2004; EFSA, 2015, 2016, 2020	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus canadensis</i>		ニワトコ属	アメリカニ ワトコ	sweet elder	EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus cerulea</i>		ニワトコ属			EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	

スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus mexicana</i>		ニワトコ属			EFSA, 2013, 2015, 2016; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Scabiosa</i> sp.		マツムシソ ウ属			EFSA, 2022	追加
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Scabiosa atropurpurea</i> var. <i>maritime</i>		マツムシソ ウ属	セイヨウマ ツムシソウ	sweet scabious	EFSA, 2023	追加
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Talinum paniculatum</i>	<i>T. patens</i>	ハゼラン属	ハゼラン	fameflower, puchero	De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Viburnum tinus</i>		ガマズミ属	ウィブルヌ ム・ティヌス	laurustinus	EFSA, 2022	
スベリヒユ科 (Portulacaceae)	<i>Montia linearis</i>	<i>Montiastrum lineare</i>	モンティア (モンティ アストルム) 属	モンティア・ リネアリス (モンティ アストルム・ リネアレ)		EFSA, 2016, 2020	
スミレ科(Violaceae)	<i>Melicytus ramiflorus</i>		メリキツス 属	メリキツス・ ラミフロル ス		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
セリ科(Umbelliferae)	<i>Conium maculatum</i>		ドクニンジ ン属	ドクニンジ ン	poison hemlock	CABI, 2023; De Coll et al., 2000; EFSA, 2016, 2020	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Eriogonum</i> sp.		エリオゴヌ ム属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	

タデ科 (Polygonaceae)	<i>Fallopia japonica</i>	<i>Polygonum reynoutria, Reynoutria japonica</i>	ソバカズラ 属	イタドリ	Japanese knotweed	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Persicaria lapathifolia</i>	<i>Polygonum lapathifolium</i>	イヌタデ属	オオイヌタ デ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Krugner et al., 2012	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Persicaria maculosa</i>	<i>Polygonum persicaria</i>	イヌタデ属	ペルシカリ ア・マクロー サ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Polygonum arenastrum</i>		ミチヤナギ 属	ポリゴナム・ アレナスツ ルム		EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Polygonum aviculare</i>		ミチヤナギ 属	ミチヤナギ		CABI, 2023	
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Rumex sp.</i>		ギシギシ属			EFSA, 2023	追加
タデ科 (Polygonaceae)	<i>Rumex crispus</i>		ギシギシ属	ナガバギシ ギシ	curled dock	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Arbutus unedo</i>		アルブツス 属	アルブツス・ ウネド	cane apples, mdrone	EFSA, 2022	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Arctostaphylos sp.</i>		アルクトス タフィロス 属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Calluna vulgaris</i>		カルナ属	ギョリュウ モドキ		DGAV, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Erica cinerea</i>		エリカ属	エリカ・キネ レア	bell heather	EFSA, 2022	

ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium</i>		スノキ(コケモモ)属			CABI, 2023; EFSA, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium ashei</i>		スノキ(コケモモ)属	ラビットアイ・ブルーベリー	rabbit-eye blueberry	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium corymbosum</i>		スノキ(コケモモ)属	ヌマスノキ(ブルーベリー)	highbush blueberry	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium corymbosum</i> × <i>Vaccinium angustifolium</i>		スノキ(コケモモ)属			EFSA, 2016	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium corymbosum</i> × <i>Vaccinium angustifolium</i> hybrid		スノキ(コケモモ)属			EFSA, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium darrowii</i>		スノキ(コケモモ)属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium elliotii</i>		スノキ(コケモモ)属			EFSA, 2020	
ツツジ科(Ericaceae)	<i>Vaccinium virgatum</i>		スノキ(コケモモ)属			EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
ツバキ科(Theaceae)	<i>Stewartia pseudocamellia</i>		ナツツバキ属	ナツツバキ	Japanese stewartis	EFSA, 2020	
ツユクサ科(Commelinaceae)	<i>Commelina benghalensis</i>		ツユクサ属	マルバツユクサ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ツユクサ科(Commelinaceae)	<i>Commelina erecta</i>		ツユクサ属	シュツコンツユクサ		De Coll et al., 2000; EFSA, 2020	

トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Croton setigerus</i>	<i>Eremocarpus setigerus</i>	ハズ属	クロトン・セ ティゲルス	turkey mullein	Costello et al., 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Euphorbia chamaesyce</i>	<i>Chamaesyce canescens</i>	トウダイグ サ属(カマエ シケ属)	ユーフォル ビア・カマエ シセ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; POnTE, 2019a, b	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Euphorbia hirta</i>	<i>Chamaesyce hirta</i>	トウダイグ サ属(カマエ シケ属)	ユーフォル ビア・ヒルタ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Euphorbia terracina</i>		トウダイグ サ属	ユーフォル ビア・テラキ ナ		EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Hevea brasiliensis</i>		パラゴムノ キ属	パラゴムノ キ	para rubber tree	EFSA, 2020	
トウダイグサ科 (Euphorbiaceae)	<i>Mallotus paniculatus</i>		アカメガシ ワ属	ウラジロア カメガシワ		EFSA, 2016, 2020; Su et al., 2013	
トケイソウ科 (Passifloraceae)	<i>Passiflora foetida</i>		トケイソウ 属	パッシフロ ラ・フォエテ ィダ	wild water lemon	CABI, 2023; EFSA, 2020	
トチノキ科 (Hippocastanaceae)	<i>Aesculus</i>		トチノキ属	トチノキ属		CABI, 2023	
トチノキ科 (Hippocastanaceae)	<i>Aesculus × hybrida</i>		トチノキ属	アエスクル ス・ヒブリダ		EFSA, 2016, 2020	
トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum crassifolium</i>		トベラ属	ピットスポ ルム・クラッ シフォリウ ム	caro	EFSA, 2016, 2020; Groenteman et al., 2015	

トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum eugenioides</i>		トベラ属	ピットスポ ルム・エウゲ ニオイデス	tarata	EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum tenuifolium</i>		トベラ属	クロバトベ ラ	kohuhu tawhiwhi	EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum umbellatum</i>		トベラ属	ピットスポ ルム・ウンベ ラツム		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ナス科(Solanaceae)	<i>Datura wrightii</i>	<i>D. innoxia</i>	チョウセン アサガオ属	ダツラ・ライ ティイ	sacred datura	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
ナス科(Solanaceae)	<i>Solanum americanum</i>		ナス属	テリミノイ ヌホオズキ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ナス科(Solanaceae)	<i>Solanum elaeagnifolium</i>		ナス属	ソラヌム・エ ラエアグニ フオリウム		CABI, 2023; EFSA, 2016	
ナデシコ科 (Caryophyllaceae)	<i>Stellaria media</i>		ハコベ属	コハコベ	common chickweed	CABI, 2023; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
ナンヨウスギ科 (Araucariaceae)	<i>Agathis australis</i>		アガティス 属	アガティス・ アウストラ リス	kauri pine	EFSA, 2016, 2020; Groenteman et al., 2015	
ニシキギ科 (Celastraceae)	<i>Celastrus orbiculatus</i>		ツルウメモ ドキ属	ツルウメモ ドキ	oriental bittersweet	CABI, 2023; EFSA, 2015, 2016, 2020; EPPO, 2001	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Celtis occidentalis</i>		エノキ属	アメリカエ ノキ		EFSA, 2016, 2020	

ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus</i>		ニレ属			CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus × hollandica</i>		ニレ属			EFSA, 2020	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus americana</i>		ニレ属	アメリカニレ	American elm	CABI, 2023; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; Harris et al., 2014; Nunney et al., 2013	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus crassifolia</i>		ニレ属			EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus glabra</i>	<i>U. scabra</i>	ニレ属	セイヨウハルニレ	Scotch elm	EFSA, 2020	
ニレ科(Ulmaceae)	<i>Ulmus pumila</i>		ニレ属	チャイニーズエルム、ノニレ	Chinese elm	EFSA, 2020	
ノウセンカズラ科 (Bignoniaceae)	<i>Campsis radicans</i>		ノウセンカズラ属	アメリカノウセンカズラ	trumpet creeper	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ノウセンカズラ科 (Bignoniaceae)	<i>Chitalpa tashkentensis</i>		チタルパ属	チタルパ・タシュケンテンシス		EFSA, 2016, 2020	
ノウセンカズラ科 (Bignoniaceae)	<i>Jacaranda mimosifolia</i>		ジャカランダ属	ジャカランダ・ミモシフォリア	jacaranda	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
パイナップル科 (Bromeliaceae)	<i>Tillandsia usneoides</i>		ティランジア属	サルオガセモドキ	Spanish moss	EFSA, 2016	

バショウ科 (Musaceae)	<i>Strelitzia reginae</i>		ゴクラクチ ヨウカ属	ゴクラクチ ヨウカ	bird-of- paradise flower	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ハマジンチョウ科 (Myoporaceae)	<i>Eremophila maculata</i>		エレモフィ ラ属	エレモフィ ラ・マクラタ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ハマジンチョウ科 (Myoporaceae)	<i>Myoporum sp.</i>		ミオポルム 属(ハマジン チョウ属)			EFSA, 2023	
ハマジンチョウ科 (Myoporaceae)	<i>Myoporum insulare</i>		ミオポルム 属	ミオポルム・ インスラレ		EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020	
ハマジンチョウ科 (Myoporaceae)	<i>Myoporum laetum</i>		ミオポルム 属	ミオポルム・ ラエツム		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
バラ科(Rosaceae)	<i>Fragaria vesca</i>		オランダイ チゴ属	エゾノヘビ イチゴ	European strawberry	CABI, 2023	
バラ科(Rosaceae)	<i>Fragaria vesca</i> subsp. <i>californica</i>		オランダイ チゴ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Heteromeles arbutifolia</i>		ヘテロメレ ス属	ヘテロメレ ス・アルブテ イフォリア	toyon	Costa et al.,2004; EFSA, 2016; Merriman, 2001	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus</i>		サクラ属			CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus (Prunus salicina × Prunus angustifolia) × (Prunus salicina × Prunus munsoniana)</i>		サクラ属			EFSA, 2020	

バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus americana</i>		サクラ属	アメリカスモモ	American plum	Costa et al.,2004; EFSA, 2015, 2016, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus angustifolia</i>		サクラ属	プルヌス・アングスティフォリア		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus armeniaca</i>		サクラ属	ホンアンズ	apricot	EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus avium</i>		サクラ属	サクランボ	cherry	CABI, 2023; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus cerasifera</i>		サクラ属	ミロバランスモモ	myrobalan plum	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus cerasifera</i> × <i>Prunus munsoniana</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus cerasifera</i> × <i>Prunus salicina</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus cerasus</i>		サクラ属	スミセイヨウミザクラ	sour cherry	CABI, 2023; EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus davidiana</i>		サクラ属	ノモモ		CABI, 2023	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus domestica</i>		サクラ属	セイヨウスモモ	plum	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Nunney et al., 2013	

バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus dulcis</i>	<i>P. amygdalus, P. communis</i>	サクラ属	アーモンド	almond	CABI, 2023; Costa et al., 2004; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2018; Krugner et al., 2012; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus dulcis</i> × <i>Prunus webbii</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus hortulana</i>		サクラ属	ホーチュラ ナスモモ		EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus laurocerasus</i>		サクラ属	セイヨウバ クチノキ	cherry laurel	EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus mahaleb</i>		サクラ属	マハレブ	mahaleb cherry	CABI, 2023	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus mexicana</i>		サクラ属	ミキンカナ		EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus mume</i>		サクラ属	ウメ	Japanese apricot	EFSA, 2015	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus munsoniana</i>		サクラ属	マンサニア スモモ		EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus persica</i>		サクラ属	モモ	peach	CABI, 2023; Costa et al., 2004; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Merriman, 2001; Nunney et al., 2013	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus persica</i> × <i>Prunus webbii</i>		サクラ属			EFSA, 2020	

バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus salicina</i>		サクラ属	ニホンスモモ	Japanese plum	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus salicina</i> × ( <i>Prunus salicina</i> × <i>Prunus cerasifera</i> )		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus serotina</i>		サクラ属	セロティナ	wild black cherry	CABI, 2023; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus serrulata</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus simonii</i>		サクラ属	サイモンスモモ、ベニスモモ	aplicot plum	EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus simonii</i> × <i>Prunus salicina</i> × <i>Prunus cerasifera</i> × <i>Prunus munsoniana</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Prunus webbii</i>		サクラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Pyrus</i>		ナシ属		pear	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Pyrus pyrifolia</i>		ナシ属			EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa</i> sp.		バラ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa californica</i>		バラ属	ロサ・カリフォルニカ		EFSA, 2016, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa canina</i>		バラ属	ロサ・カニナ	dog rose	ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	

バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa</i> Cluster-flowered bush hybrids		バラ属			EPPO GDB, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa floribunda</i>		バラ属	ロサ・フロリ ブンダ		EFSA, 2016	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rosa multiflora</i>		バラ属	ノイバラ	baby rose, polyantha rose	EPPO GDB, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus</i>		キイチゴ属			CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus discolor</i>	<i>Rubus ulmifolius</i>	キイチゴ属			EFSA, 2013, 2015, 2016, 2023	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus fruticosus</i>		キイチゴ属			EFSA, 2016	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus hedycarpus</i> subsp. <i>procerus</i>		キイチゴ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus idaeus</i>		キイチゴ属	ヨーロッパ キイチゴ(ラ ズベリー)	European raspberry	EFSA, 2023	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus procerus</i>		キイチゴ属			EFSA, 2015, 2016; EPPO, 2000	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus rigidus</i>		キイチゴ属			EFSA, 2020	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus trivialis</i>		キイチゴ属	ルブス・トリ ウィアーリ ス		EFSA, 2015, 2016	

バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus ursinus</i>		キイチゴ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
バラ科(Rosaceae)	<i>Rubus vitifolius</i>		キイチゴ属	ルブス・ウィ ティフォリス	western dewberry	EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus</i> sp.		ゴジアオイ 属			EPPO, 2018, 2020	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus albidus</i>		ゴジアオイ 属	キスツス・ア ルビドウス		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus creticus</i>	<i>C. incanus</i>	ゴジアオイ 属	キスツス・ク レティクス		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus inflatus</i>		ゴジアオイ 属			EFSA, 2023	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus monspeliensis</i>		ゴジアオイ 属	キスツス・モ ンスペリエ ンシス		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
ハンニチバナ科 (Cistaceae)	<i>Cistus salviifolius</i>		ゴジアオイ 属	キスツス・サ ルウィーフ オリウス		DGAV, 2020; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ヒノキ科 (Cupressaceae)	<i>Juniperus ashei</i>		ビャクシン 属	ユニペルス・ アシェイ	ashe juniper	EFSA, 2016, 2020	
ヒメハギ科 (Polygalaceae)	<i>Polygala</i> sp.		ヒメハギ属			EFSA, 2018, 2020	
ヒメハギ科 (Polygalaceae)	<i>Polygala</i> × <i>dalmaisiana</i>		ヒメハギ属			EFSA, 2020	
ヒメハギ科 (Polygalaceae)	<i>Polygala</i> × <i>grandiflora nana</i>		ヒメハギ属			EFSA, 2016, 2018, 2020	

ヒメハギ科 (Polygalaceae)	<i>Polygala myrtifolia</i>		ヒメハギ属	ポリガラ・ミ ルティフォ リア		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2018; Saponari et al., 2014a	
ヒユ科 (Amaranthaceae)	<i>Alternanthera tenella</i>	<i>A. ficoidea</i> , <i>A. bettzickiana</i>	ツルノゲイ トウ属	アルテルナ ンテラ・テネ ラ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
ヒユ科 (Amaranthaceae)	<i>Amaranthus</i> sp.		ヒユ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
ヒユ科 (Amaranthaceae)	<i>Amaranthus retroflexus</i>		ヒユ属	アオゲイト ウ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; POnTE, 2019a, b	
ヒユ科 (Amaranthaceae)	<i>Salsola tragus</i>	<i>S. kali</i> subsp. <i>tragus</i>	オカヒジキ 属	サルソラ・ツ ラグス	common saltwort	CABI, 2023; Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
ヒルガオ科 (Convolvulaceae)	<i>Convolvulus arvensis</i>		セイヨウヒ ルガオ属	セイヨウヒ ルガオ	field bindweed	CABI, 2023; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
ヒルガオ科 (Convolvulaceae)	<i>Convolvulus cneorum</i>		セイヨウヒ ルガオ属	コンウオル ウルス・クネ オルム		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ヒルガオ科 (Convolvulaceae)	<i>Ipomoea fistulosa</i>	<i>I. carnea</i> subsp. <i>fistulosa</i>	サツマイモ 属	コダチアサ ガオ	tree ipomoea	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ヒルガオ科 (Convolvulaceae)	<i>Merremia macrocalyx</i>		コガネヒル ガオ属	メレミア・マ クロカリク ス		EFSA, 2020	

フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Erodium</i>		オランダフ ウロ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Erodium botrys</i>		オランダフ ウロ属	ナガミオラ ンダフウロ		EFSA, 2016; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Erodium cicutarium</i>		オランダフ ウロ属	オランダフ ウロ	red-stemmed filaree	CABI, 2023; EFSA, 2016; EFSA, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Erodium moschatum</i>		オランダフ ウロ属	ジャコウオ ランダフウ ロ	white-stemmed filaree	CABI, 2023; EFSA, 2016; EFSA, 2020; Krugner et al., 2012	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Geranium dissectum</i>		フウロソウ 属	オトメフウ ロ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Krugner et al., 2012	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Pelargonium</i>		ペラルゴニ ューム属			EFSA, 2016, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Pelargonium × hortorum</i>		ペラルゴニ ューム属			EFSA, 2015, 2016, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Pelargonium fragrans</i>		ペラルゴニ ューム属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
フウロソウ科 (Geraniaceae)	<i>Pelargonium graveolens</i>		ペラルゴニ ューム属	ニオイテン ジクアオイ		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Ampelopsis arborea</i>		ノブドウ属	アンペロプ シス・アルポ レア		EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> var. <i>hancei</i>	<i>A. glandulosa</i> var. <i>hancei</i> , <i>A. brevipedunculata</i> var. <i>glabrifolia</i> , <i>A. glandulosa</i> var. <i>grabrifolia</i>	ノブドウ属	テリハノブドウ		EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i>	<i>A. glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i> , <i>A. glandulosa</i> var. <i>brevipedunculata</i>	ノブドウ属	ノブドウ		EFSA, 2016, 2020; Su et al., 2013	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Ampelopsis cordata</i>		ノブドウ属	アンペロプシス・コルダタ		EFSA, 2016, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Parthenocissus quinquefolia</i>		ツタ属	バージニアツタ	American ivy	EFSA, 2016, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>		ツタ属	ツタ	Japanese ivy	EFSA, 2020; Freitag, 1951	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis</i>		ブドウ属			CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Krugner et al., 2012; Nunney et al., 2013	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis × champinii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis acerifolia</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis aestivalis</i>		ブドウ属			EFSA, 2016, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis aestivalis</i> hybrid		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis aestivalis</i> var. <i>smalliana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis aestivalis</i> var. <i>smalliana</i> × <i>Vitis simpsonii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica</i> × <i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica</i> × <i>Vitis vinifera</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica</i> hybrid		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica/candicans</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica/candicans</i> × <i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica/girdiana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis arizonica/girdiana</i> × <i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis berlandieri</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis bloodwothiana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis bourquiniana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis californica</i>		ブドウ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2016; EFSA, 2020; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis candicans</i>		ブドウ属			CABI, 2023; EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis champinii</i> × ( <i>Vitis solonis</i> × <i>Vitis othello</i> )		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis cinerea</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis cinerea</i> × <i>Vitis berlandieri</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis cinerea</i> var. <i>helleri</i> × <i>Vitis vulpina</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis girdiana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis labrusca</i>		ブドウ属	アメリカブ ドウ	fox grape	CABI, 2023; EFSA, 2016; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2018	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis labrusca</i> × <i>Vitis vinifera</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis linsecumii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis monticola</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis munsoniana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis muscadina</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis mustangensis</i>		ブドウ属			EFSA, 2015; EFSA, 2016; EFSA, 2016	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis nesbittiana</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis palmata</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis riparia</i>		ブドウ属			EPPO, 2018; EPPO GDB, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis rotundifolia</i>		ブドウ属	ロッテンデ イフォーリ ア		EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis rotundifolia</i> × <i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis rufotomentosa</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属	ルペストリ スブドウ		CABI, 2023; EFSA, 2016; Janse and Obradovic, 2010	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis shuttleworthii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis simpsonii</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis tiliaefolia</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	

ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis vinifera</i>		ブドウ属	ヨーロッパ ブドウ	European grape	CABI, 2023; Costa et al., 2004; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2018; Groenteman et al., 2015; Janse and Obradovic, 2010; Nunney et al., 2013	
ブドウ科(Vitaceae)	<i>Vitis vulpina</i>		ブドウ属			EFSA, 2020	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Eucalyptus</i> sp.		ユーカリノ キ属			Costello et al., 2017; EFSA, 2020	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Eucalyptus camaldulensis</i>		ユーカリノ キ属	エウカリプ ツス・カマル ドゥレンシ ス	murray red gum	EFSA, 2015, 2016, 2020	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Eucalyptus globulus</i>		ユーカリノ キ属	エウカリプ ツス・グロブ ルス	Tasmanian blue gum	EFSA, 2015, 2016, 2020	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Eugenia myrtifolia</i>	<i>Syzygium australe</i>	ユーゲニア 属	ユーゲニア・ ミルティフ オリア		EFSA, 2016; Freitag, 1951	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Metrosideros</i>		オオフトモ モ属		bottlebrush	EFSA, 2015, 2016; Nunney et al., 2013	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Metrosideros excelsa</i>		オオフトモ モ属		christmas tree	DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; Groenteman et al., 2015	

フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Metrosideros kermadecensis</i>		オオフトモモ属			EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Myrtus communis</i>		ギンバイカ属	ギンバイカ	myrtle	DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Psidium sp.</i>		バンジロウ属			EFSA, 2022	
フトモモ科 (Myrtaceae)	<i>Syzygium paniculatum</i>	<i>Eugenia paniculata</i>	フトモモ属	シジギウム・パニクラツム	brush cherry	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Fagus crenata</i>		ブナ属	ブナ	Japanese beech	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus</i>		コナラ属			CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Merriman, 2001	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus agrifolia</i>		コナラ属			Costa et al., 2004; Costello et al., 2017; EFSA, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus alba</i>		コナラ属	クエルクス・アルバ	white oak	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus coccinea</i>		コナラ属	クエルクス・コッキネア	scarlet oak	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	

ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus falcata</i>		コナラ属			Barnard, 1998; CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus ilex</i>		コナラ属		evergreen oak	EFSA, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus imbricaria</i>		コナラ属			EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus incana</i>		コナラ属		blue-jack oak	Barnard, 1998; EFSA, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus laevis</i>		コナラ属			Barnard, 1998; CABI, 2023; EFSA, 2020; Nunney et al., 2013	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus laurifolia</i>		コナラ属			Barnard, 1998; CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus lobata</i>		コナラ属			EFSA, 2013, 2015, 2016; Janse and Obradovic, 2010	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus macrocarpa</i>		コナラ属	クエルクス・マクロカルパ	bur oak	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus nigra</i>		コナラ属			Barnard, 1998; CABI, 2023; EFSA, 2015, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus palustris</i>		コナラ属	アメリカガシワ	pin oak	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Harris et al., 2014; Nunney et al., 2013	

ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus phellos</i>		コナラ属			CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus pubescens</i>		コナラ属			EFSA, 2023	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus robur</i>		コナラ属	オウシュウナラ	English oak	DGAV, 2020; EFSA, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus rubra</i>		コナラ属	アカガシワ	red oak	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Harris et al., 2014; Nunney et al., 2013	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus shumardii</i>		コナラ属			EFSA, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus suber</i>		コナラ属	コルクガシ	cork oak	DGAV, 2020; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus velutina</i>		コナラ属	クエルクス・ベルテナ	black oak	CABI, 2023; EFSA, 2015, 2016, 2020	
ブナ科(Fagaceae)	<i>Quercus virginiana</i>		コナラ属		live oak	Barnard, 1998; EFSA, 2016, 2020	
マツ科(Pinaceae)	<i>Pinus taeda</i>		マツ属	テーダマツ	loblolly pine	EFSA, 2016, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia</i> sp.		アカシア属			EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia cultriformis</i>	<i>A. cultrata</i>	アカシア属	サンカクバ アカシア		EFSA, 2023	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia dealbata</i>		アカシア属	フサアカシ ア	mimosa	ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia longifolia</i>		アカシア属	ナガバアカシア	sydney golden wattle	DGAV, 2020 ; EFSA, 2016, 2020; Freitag, 1951	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia melanoxylon</i>		アカシア属	アカシア・メラノクシロン		EFSA, 2023	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia saligna</i>		アカシア属	アカシア・サリグナ		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Adenocarpus lainzii</i>	<i>A. complicatus</i> subsp. <i>lainzii</i>	アデノカルプス属	アデノカルプス・ラインジイ		EFSA, 2022	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Albizia julibrissin</i>		ネムノキ属	アルビジア・ユリブリッシン	silk tree	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Anthyllis barba-jovis</i>		アンティリス属	アンティリス・バルバ・ヨウイス		EFSA, 2023	追加
マメ科 (Leguminosae)	<i>Anthyllis hermanniae</i>		アンティリス属	アンティリス・ヘルマニアエ		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Calicotome</i> sp.		カリコトメ属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Calicotome spinosa</i>	<i>Cytisus spinosus</i>	カリコトメ属	カリコトメ・スピノサ		EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2019	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Calicotome villosa</i>		カリコトメ属	カリコトメ・ビルロサ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Cassia tora</i>	<i>Senna tora</i>	センナ属(カ シヤ属)	コエビスグ サ		CABI, 2023; EFSA, 2016; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cercis canadensis</i>		ハナズオウ 属	アメリカハ ナズオウ	redbud	EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cercis occidentalis</i>		ハナズオウ 属	ケルキス・オ ッキデンタ リス		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cercis siliquastrum</i>		ハナズオウ 属	セイヨウズ オウ	Judas tree	ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Chamaecrista fasciculata</i>	<i>Cassia chamaecrista</i>	カワラケツ メイ属	カマエクリ スタ・ファス キクラタ	partridge pea	EFSA, 2016, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Coronilla valentina</i>	<i>C. valentina</i> subsp. <i>glauca</i> , <i>C.</i> <i>valentina</i> subsp. <i>valentina</i> , <i>C.</i> <i>argentea</i> , <i>C.</i> <i>glauca</i>	コロニラ属	コロニラ・ヴ アレソティ ナ	shrubby scorpion vetch	EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cytisus</i> sp.		エニシダ属			EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cytisus scoparius</i>		エニシダ属	エニシダ	Scotch broom	DGAV, 2020; EFSA, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Cytisus villosus</i>		エニシダ属	キティスス・ ビルロスス		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2018, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista corsica</i>		ヒトツバエ ニシダ属	ゲニスタ・コ ルシカ		ANSES, 2017; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista ephedroides</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista hirsuta</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2023	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista lucida</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2018, 2020; EPPO, 2019	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista monspessulana</i>	<i>Teline monspessulana</i>	ヒトツバエ ニシダ属	ゲニスタ・モ ンスペッス ラーナ		EFSA, 2013, 2015, 2016; Janse and Obradovic, 2010; Merriman, 2001	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista scorpius</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2023	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista spachiana</i>	<i>Cytisus racemosus</i>	ヒトツバエ ニシダ属			EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista tricuspidata</i>		ヒトツバエ ニシダ属			EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista tridentata</i>	<i>Pterospartum tridentatum</i>	ヒトツバエ ニシダ属			DGAV, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Gleditsia triacanthos</i>		サイカチ属	アメリカサ イカチ	honey locust	EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Lupinus aridorum</i>		ルピヌス属	ルピヌス・ア リドルム		EFSA, 2016, 2018, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Lupinus villosus</i>		ルピヌス属	ルピヌス・ウ ィロスス		EFSA, 2016, 2018, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Medicago</i>		ウマゴヤシ 属			CABI, 2023	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Medicago arborea</i>		ウマゴヤシ 属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Medicago polymorpha</i>	<i>M. hispida,</i>	ウマゴヤシ 属	ウマゴヤシ		CABI, 2023; De Coll et al., 2000; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; Krugner et al., 2012	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Medicago sativa</i>		ウマゴヤシ 属	アルファル ファ	alfalfa	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; Krugner et al., 2012	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Melilotus sp.</i>		シナガワハ ギ属			EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Neptunia lutea</i>		ネプツニア 属	ネプツニア・ ルテア		EFSA, 2016, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Retama monosperma</i>	<i>Genista monosperma, Spartium monospermum</i>		レタマ		EFSA, 2023	追加
マメ科 (Leguminosae)	<i>Robinia pseudoacacia</i>		ハリエンジ ユ属	ハリエンジ ユ	black locust, false acacia	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Senna obtusifolia</i>	<i>Cassia obtusifolia</i>	センナ属(カ ッシア属)	エビスグサ		CABI, 2023; EPPO GDB, 2020; Lopes et al., 2003	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Sophora secundiflora</i>		クララ属	ソフォラ・セ クンディフ ロラ		EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Spartium</i> sp.		スパルティ ウム属			EPPO, 2018, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Spartium junceum</i>		スパルティ ウム属	レダマ	Spanish broom	CABI, 2023; Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Trifolium</i>		シャジクソ ウ属			CABI, 2023	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Trifolium incarnatum</i>		シャジクソ ウ属	ベニバナツ メクサ		EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Trifolium repens</i>		シャジクソ ウ属	シロツメク サ	white clover	EFSA, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Trifolium repens</i> var. <i>latum</i>		シャジクソ ウ属			EFSA, 2015	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex</i> sp.		ハリエニシ ダ属			EFSA, 2023	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex europaeus</i>		ハリエニシ ダ属	ハリエニシ ダ	furze	DGAV, 2020; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex minor</i>		ハリエニシ ダ属	ウレクス・ミ ノル	dwarf furze	EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Ulex parviflorus</i>		ハリエニシ ダ属			EFSA, 2023	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Vicia ludoviciana</i>		ソラマメ属	ウィキア・ル ドウィキア ナ		EFSA, 2020	

マメ科 (Leguminosae)	<i>Wisteria frutescens</i>		フジ属	アメリカフジ		EFSA, 2020	
マンサク科 (Hamamelidaceae)	<i>Liquidambar styraciflua</i>		フウ属	モミジバフウ	sweet gum	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Harris et al., 2014; Nunney et al., 2013	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus</i>		ミカン属(カンキツ属)	ミカン属		CABI, 2023; Costa et al., 2004; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2018; Merriman, 2001; Minsavage et al., 1994	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus × limonia</i>		ミカン属(カンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus × nobilis</i>		ミカン属(カンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus × tangelo</i>		ミカン属(カンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus aurantifolia</i>		ミカン属(カンキツ属)	ライム	lime	EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus aurantium</i>		ミカン属(カンキツ属)	ダイダイ	sour orange	EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus celebica</i>		ミカン属(カンキツ属)	シトルス・セレビカ		EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus clementina</i>		ミカン属(カンキツ属)			EFSA, 2020	

ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus clementina</i> × <i>Citrus sinensis</i>		ミカン属(カ ンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus deliciosa</i> × <i>Citrus sinensis</i>		ミカン属(カ ンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus hystrix</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	コブミカン		CABI, 2023	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus jambhiri</i>		ミカン属(カ ンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus latifolia</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	タヒチライ ム		CABI, 2023	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus limon</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	レモン	lemon	CABI, 2023; Costa et al.,2004; EFSA, 2016, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus macrophylla</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	マクロフィル ラ		EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus medica</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	シトロン	citron	EFSA, 2020;	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus natsudaidai</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	ナツミカン		EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus paradisi</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	グレープフ ルーツ	grapefruit	EFSA, 2016, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus reshni</i>		ミカン属(カ ンキツ属)			EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus reticulata</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	マンダリン	mandarin orange	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus reticulata</i> × <i>paradisi</i>		ミカン属(カ ンキツ属)	タンジェロ		CABI, 2023	

ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus sinensis</i>		ミカン属(カンキツ属)	スウィートオレンジ	sweet orange	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; Janse and Obradovic, 2010	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus sunki</i>		ミカン属(カンキツ属)	スンキ		EFSA, 2015	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus tangerina</i>		ミカン属(カンキツ属)	オオベニミカン		EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Citrus unshiu</i>		ミカン属(カンキツ属)	ウンシュウミカン	satsuma mandarin	EFSA, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Fortunella</i>		キンカン属			EPPO, 2018; EPPO GDB, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Melicope ternata</i>		メリコペ属	メリコペ・テルナタ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Poncirus trifoliata</i>		カラタチ属	カラタチ	trifoliolate orange	EPPO GDB, 2020	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Ruta chalepensis</i>		ヘンルーダ属	ルタ・カレペンシス		EFSA, 2022	
ミカン科(Rutaceae)	<i>Ruta graveolens</i>		ヘンルーダ属	ヘンルーダ	common rue	EFSA, 2023	追加
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Cornus florida</i>		ミズキ属	アメリカヤマボウシ	flowering dogwood	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Corokia</i> sp.		コロキア属			EFSA, 2020	
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Corokia cotoneaster</i>		コロキア属	コロキア・コトネアステル		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	

ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Corokia macrocarpa</i>		コロキア属	コロキア・マ クロカルパ		EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ミソハギ科 (Lythraceae)	<i>Lagerstroemia</i> sp.		サルスベリ 属			EFSA, 2018, 2020	
ミソハギ科 (Lythraceae)	<i>Lagerstroemia indica</i>		サルスベリ 属	サルスベリ	crape myrtle	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ムクロジ科 (Sapindaceae)	<i>Alectryon excelsus</i>		アレクトリ オン属	アレクトリ オン・エクス ケルスス		EFSA, 2016, 2020; Groenteman et al., 2015	
ムクロジ科 (Sapindaceae)	<i>Dodonaea viscosa</i>		ハウチワノ キ属	ハウチワノ キ	hopbush	DGAV, 2020; EFSA, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
ムクロジ科 (Sapindaceae)	<i>Koelreuteria bipinnata</i>		モクゲンジ 属	フクワバモ クゲンジ		EFSA, 2016, 2018, 2020	
ムクロジ科 (Sapindaceae)	<i>Sapindus saponaria</i>		ムクロジ属	ムクロジ	soap nut tree	EFSA, 2016, 2020	
ムラサキ科 (Boraginaceae)	<i>Echium plantagineum</i>	<i>E. lycopsis</i>	エキウム属	エキウム・プ ランタギネ ウム		EFSA, 2022	
ムラサキ科 (Boraginaceae)	<i>Heliotropium europaeum</i>		キダチルリ ソウ属	ヨウシュキ ダチルリソ ウ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
ムラサキ科 (Boraginaceae)	<i>Heliotropium fruticosum</i>		キダチルリ ソウ属			EFSA, 2020	
ムラサキ科 (Boraginaceae)	<i>Heliotropium indicum</i>		キダチルリ ソウ属	ナンバンル リソウ		EFSA, 2020	

メギ科 (Berberidaceae)	<i>Berberis thunbergii</i>		メギ属	メギ	Japanese barberry	EFSA, 2023	追加
メギ科 (Berberidaceae)	<i>Nandina domestica</i>		ナンテン属	ナンテン	heavenly bamboo	CABI, 2023; EFSA, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Chionanthus</i> sp.		ヒトツバタ ゴ属			EFSA, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Chionanthus retusus</i>		ヒトツバタ ゴ属	ヒトツバタ ゴ		CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus</i>		トネリコ属			EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus americana</i>		トネリコ属	アメリカト ネリコ	white ash	EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus angustifolia</i>		トネリコ属	ホソバトネ リコ		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus dipetala</i>		トネリコ属			EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus latifolia</i>		トネリコ属			EFSA, 2015	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus pennsylvanica</i>		トネリコ属	ビロウドト ネリコ	green ash	EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Ligustrum lucidum</i>		イボタノキ 属	トウネズミ モチ	white wax tree	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Ligustrum sinense</i>		イボタノキ 属			EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Olea</i> sp.		オリーブ属			EFSA, 2018, 2020	

モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Olea europaea</i>		オリーブ属	オリーブ	olive	Costa et al.,2004; DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020; EPPO, 2018; Krugner et al., 201Ponte4; Nunney et al., 2013	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Olea europaea</i> subsp. <i>europaea</i>		オリーブ属			CABI, 2023	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Olea europaea</i> subsp. <i>sylvestris</i>		オリーブ属			EFSA, 2020	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Phillyrea angustifolia</i>		フィリレア 属			EFSA, 2023	追加
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Phillyrea latifolia</i>		フィリレア 属	フィリレア・ ラティフォ ーリア		EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	
モクセイ科 (Magnoliaceae)	<i>Syringa vulgaris</i>		ハシドイ属	ムラサキハ シドイ	lilac	EFSA, 2023	追加
モクレン科 (Magnoliaceae)	<i>Liriodendron tulipifera</i>		ユリノキ属	ユリノキ	tulip tree	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020; Harris et al., 2014	
モクレン科 (Magnoliaceae)	<i>Magnolia grandiflora</i>		モクレン属	タイサンボ ク	southern magnolia	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
モクレン科 (Magnoliaceae)	<i>Magnolia</i> × <i>soulangeana</i>		モクレン属	ソコベニハ クモクレン		EFSA, 2023	追加
モチノキ科 (Aquifoliaceae)	<i>Ilex aquifolium</i>		モチノキ属	セイヨウヒ イラギ	English holly	DGAV, 2020; EFSA, 2020; EPPO GDB, 2020	

モチノキ科 (Aquifoliaceae)	<i>Ilex vomitoria</i>		モチノキ属	ヤポンノキ		CABI, 2023; EFSA, 2015, 2016, 2020	
ヤシ科(Palmae)	<i>Phoenix</i> sp.		ナツメヤシ属			EFSA, 2020	
ヤシ科(Palmae)	<i>Phoenix reclinata</i>		ナツメヤシ属	セネガルヤシ	senagal date	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ヤシ科(Palmae)	<i>Phoenix roebelenii</i>		ナツメヤシ属	シンノウヤシ	roebelin palm	CABI, 2023; EFSA, 2016, 2020	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix</i>		ヤナギ属			CABI, 2023; Costa et al., 2004; Costello et al., 2017; EFSA, 2016, 2020; Nunney et al., 2013	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix laevigata</i>		ヤナギ属			EFSA, 2015	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix lasiolepis</i>		ヤナギ属	サリックス・ラシオレピス		EFSA, 2015	
ヤマモガシ科 (Proteaceae)	<i>Grevillea juniperina</i>		グレビレア属	グレヴィレア・ユニペリナ	juniper	EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
ユキノシタ科 (Saxifragaceae)	<i>Escallonia montevidensis</i>	<i>E. bifida</i>	エスカロニア属	エスカロニア・モンテビデンシス		EFSA, 2016, 2020; EPPO GDB, 2020	
ユキノシタ科 (Saxifragaceae)	<i>Hydrangea paniculata</i>		アジサイ属	ノリウツギ		EFSA, 2016, 2020	

ユリ科(Liliaceae)	<i>Asparagus acutifolius</i>		アスパラガス属	アスパラガス・アクティフォリウス		DGAV, 2020; EFSA, 2016, 2018, 2020; EPPO GDB, 2020; FAO, 2019	
ユリ科(Liliaceae)	<i>Hemerocallis</i>		ワスレグサ属		day lily	CABI, 2023; EFSA, 2013, 2015, 2016, 2020	
ユリ科(Liliaceae)	<i>Phormium cookianum</i>	<i>P. colensoi</i>	フォルミウム属	フォルミウム・クッキアヌム	moutain flax	EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
ユリ科(Liliaceae)	<i>Phormium tenax</i>		フォルミウム属	ニューサイラン	New Zealand flax	EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
リュウゼツラン科 (Agavaceae)	<i>Cordyline</i>		センネンボク属		dracaena	EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	
リュウゼツラン科 (Agavaceae)	<i>Cordyline australis</i>		センネンボク属	ニオイシュロラン	palm lily	EFSA, 2020; Groenteman et al., 2015	

注) 備考欄の「追加」は、宿主植物として令和6（2024）年2月19日改訂時に追加した種。

***Xylella fastidiosa* の宿主植物に関連する経路の年間輸入検査量  
(貨物、郵便物及び携帯品)**

## (1) 栽植用植物

単位(数量): 本

植物名	生産国	発 生 国	2020		2021		2022	
			件数	数量	件数	数量	件数	数量
Acacia farnesiana(キンコ ウカン)	スペイン	○	1	5				
Acacia(アカシア属)	タイ	×					4	322
	ミャンマー	×	1	2				
	米国	○	2	538				
Acer buergerianum(ト ウカイト)	中国	×			1	12		
Acer mono(イタカ イト)	中国	×	1	500				
Acer palmatum var. palmatum(イ ロハモシ)	オランダ	×	7	1,306	2	2,722	10	3,254
	中国	×	1	600	2	1,000	1	800
Acer rubrum(ア リカナキ)	中国	×	1	20				
Acer saccharum(サトウ カイト)	中国	×	1	20				
Acer(カイト 属)	オランダ	×			3	4,530		
	中国	×	3	450				
Aesculus carnea(ヘニハナト チノキ)	オランダ	×					1	104
Aesculus(トチノキ 属)	オランダ	×			1	51		
Albizia julibrissin(アルビ ジア・ユリアリッシン(ネ ムノキ))	オランダ	×	1	500			1	148
Alternanthera(ア ルターナンセラ属(水草))	インド	×	27	50	30	94	25	25
	インドネシア	×	371	24,005	287	24,315	230	19,355
	オランダ	×					1	6
	シンガポール	×	188	33,380	244	45,590	213	49,756
	スリランカ	×					1	40
	タイ	×	42	2,115	18	1,000	97	1,406

	デンマーク	×	40	407	46	450	44	495
	マレーシア	×	15	430	4	110	1	15
	台湾	○					1	10
Alternanthera(ア ルターナンセラ属(地上 部))	イスラエル	○	2	3,500	2	3,500		
	スペイン	○	1	100				
	スリランカ	×	11	18,430	13	20,770	20	24,410
Alternanthera(ア ルターナンセラ属)	インドネシア	×	1	5	2	280		
	スペイン	○			1	250		
	タイ	×					1	200
Artemisia abrotanum(アブ ロタンム(地上部))	スリランカ	×					1	100
Artemisia dracunculus(ドラ クン(地上部))	イスラエル	○			1	100		
Artemisia princeps(アモキ)	ロシア	×			1	20		
Artemisia schmidtiana(アサ キリソウ(地上部))	グアテマラ	×					1	50
Artemisia stelleriana(シロア モキ(地上部))	グアテマラ	×					1	50
Artemisia(アモキ 属(地上部))	イスラエル	○	1	400	1	1,000	1	100
	ケニア	×			3	4,400		
	コロンビア	×					2	200
Artemisia(アモキ 属)	イスラエル	○			1	153	7	5,355
	オランダ	×	1	102				
	ケニア	×					1	2,000
	米国	○			1	1		
Athyrium filix- femina(セイウメイ タ(地下部))	ドイツ	×	1	200				
Athyrium filix- femina(セイウメイ タ)	オランダ	×	3	1,062	5	1,520	3	920
Berberis thunbergii(オキ)	オランダ	×	3	611			3	2,234
	米国	○			3	96		
Bidens pilosa(コ センタングサ(地上 部))	ニカラグア	×	2	5,800	4	8,300	8	21,400
Brassica oleracea var. acephala(ハクサイ タ)	ベトナム	×					1	5
	オランダ	×	93	242,882	44	158,919	50	179,252

Calluna vulgaris(キヨリユウモトキ)	ドイツ	×	47	51,240	49	47,790	44	42,750
Calocephalus(カクケアルス属(地上部))	イスラエル	○			2	10,200	1	200
	ケニア	×	7	5,200	13	12,900	6	7,600
Calocephalus(カクケアルス属)	ケニア	×	1	500	1	286		
Carex(スゲ属(地下部))	オランダ	×	1	24				
Carex(スゲ属)	アイルランド	×					8	18,000
	オランダ	×	2	144	1	252	2	824
	ケニア	×	1	1,040				
	フィリピン	×					1	1
	ポーランド	×					1	168
	英国	×	1	84				
	中国	×	2	600	3	1,500	3	1,500
	米国	○				2	2	
Carya illinoensis(=Carya pecan)(ヘカク)	オーストラリア	×	1	247	6	73	3	94
	オランダ	×					1	814
	ニュージーランド	×	1	200	1	395	1	300
	中国	×					9	1,180
Carya(ヘカク属)	オーストラリア	×			6	12	2	78
	オランダ	×	1	10				
Catharanthus roseus(=Vinca rosea)(ニチニチソウ(地上部))	グアテマラ	×					1	1,100
	ケニア	×	12	59,700				
	スリランカ	×					8	1,450
	ベトナム	×			11	1,042	14	9,630
Catharanthus roseus(=Vinca rosea)(ニチニチソウ)	ベトナム	×					3	18
Celastrus orbiculatus(ツルクモトキ盆栽)	韓国	×	1	4				
Cercis canadensis(アメリカハナスオウ)	イスラエル	○			1	180	1	390
	中国	×	2	150				
Cercis chinensis(ハナスオウ)	オランダ	×	1	200				
Cercis(ハナスオウ属)	イスラエル	○	1	400				
	オランダ	×					1	145
Cistus(ゴシアオイ属)	オランダ	×			1	50		
Citrus aurantifolia(ライム)	ニュージーランド	×			1	25		

Citrus hystrix(コブミカン(スワンギ))	タイ	×					1	70
Citrus limon(レモン)	ベトナム	×					1	92
	韓国	×					1	45
Citrus reticulata(マンダリン)	ニュージールランド	×			1	25	1	20
Citrus sinensis(オレンジ)	スペイン	○			1	4		
Citrus(ミカン属(カンキョウ属)(地上部))	フィリピン	×					1	1
Citrus(ミカン属(カンキョウ属))	オランダ	×			1	30		
	ベトナム	×					1	2
Clematis armandi(センモクウ)	オランダ	×			2	504		
Clematis florida(テツセン)	オランダ	×	18	1,750	9	1,304	5	500
Clematis montana(モンターナ)	オランダ	×			4	1,008		
Clematis(クレマチス属(センニンソウ属))	オランダ	×	117	92,064	106	98,059	75	77,613
	ガーンジー島	×	30	16,880	46	15,750	34	15,610
	タイ	×	1	2				
	ポｰランド	×	3	3,650				
	台湾	○	1	1				
	中国	×			1	5		
	米国	○	1	2				
Coffea arabica(アラビヤコーヒー(地上部))	オーストラリア	×					1	11
	オランダ	×					1	10,500
Coffea arabica(アラビヤコーヒー)	オランダ	×	54	414,800	49	836,318	43	789,250
	ニュージールランド	×	1	300	1	184	1	199
	中国	×			6	124,428		
Coffea(コーヒーノキ属)	オランダ	×	1	280	4	25,900		
Commelina(ツクサ属)	中国	×			1	10		
Convolvulus arvensis(セイヨウヒルガオ)	ベトナム	×	4	9,700				
Convolvulus cneorum(コンウオルウルス・クネオラム(地上部))	ベトナム	×					6	8,400

Convolvulus cneorum(コンウオル ウルス・クネオラム)	ベトナム	×			7	13,050	15	22,500
Convolvulus(セイ ヨウヒルガオ属(地上 部))	ケニア	×	3	1,700	2	2,000	2	2,000
Coprosma repens(コプロスマ・ レペンス(地上部))	イスラエル	○	1	300				
Coprosma repens(コプロスマ・ レペンス)	英国	×					3	12
Coprosma(コプロ スマ属(地上部))	イスラエル	○	1	400	1	400	1	400
Cordyline australis(ニオイシユロ ラン)	オランダ	×	6	2,236	6	3,024	6	3,860
	フィリピン	×	2	67				
	中国	×	31	102,080	45	138,515	57	242,694
Cordyline stricta(コルディリネ・ ストリクタ)	米国	○					2	648
Cordyline terminalis(センネン ボク(水草))	シンガポール	×			1	20	5	120
Cordyline terminalis(センネン ボク(地上部))	スリランカ	×	1	2,000	1	2,000		
Cordyline terminalis(センネン ボク)	コスタリカ	○	2	5,280				
	スリランカ	×	1	2,000				
	中国	×			5	24,788		
	米国	○					3	1,944
Cordyline(センネン ボク属(水草))	インドネシア	×	1	15	1	10		
	シンガポール	×	37	777	40	872	45	1,034
	台湾	○					1	20
Cordyline(センネン ボク属(地上部))	スリランカ	×	7	8,700	9	11,200	8	14,660
	ハワイ諸島	×	1	2	1	75	2	5
	フィリピン	×			1	1,000	34	17,340
Cordyline(センネン ボク属)	オーストラリア	×	6	13,214	6	18,060	9	40,005
	オランダ	×	1	146	2	588	2	672
	コスタリカ	○	1	480				
	スリランカ	×	37	28,862	46	59,915	38	48,418
	タイ	×					1	30
	ハワイ諸島	×					1	2
	フィリピン	×	186	122,065	162	138,262	149	176,201
	モロッコ	×	1	1				
	中国	×	16	38,211	15	40,005	7	11,930
米国	○					2	1,224	

Cornus florida(アメリカヤマボウシ(ハナミズキ))	オランダ	×			1	50	2	137
Corokia cotoneaster(コキア・コトネアステル)	スリランカ	×			1	50	2	3,119
Corokia(コキア属)	オランダ	×	2	100				
	スリランカ	×			1	458	2	1,881
Cortaderia(シロカネシ属)	オランダ	×	1	200			2	1,140
Cynodon dactylon(キヨウギシバ(バミユダグラス))	タイ	×	5	23,580,200	11	49,744,000	5	32,424,000
	米国	○			1	7,667	1	5,307,300
Cynodon(キヨウギシバ属)	米国	○			2	10,804,500		
Cyperus(カヤツリグサ属(水草))	シンガポール	×	1	30				
Cyperus(カヤツリグサ属(地上部))	イスラエル	○	1	200	1	200		
Cyperus(カヤツリグサ属)	タイ	×	1	12				
	ベトナム	×					1	1
Elaeagnus umbellata(アキミ盆栽)	韓国	×	1	3				
Erodium(オランダフウ属(地上部))	イスラエル	○	3	700	4	800	2	1,100
	エチオピア	×	1	500	1	500	2	1,000
Erodium(オランダフウ属)	中国	×					1	116
Erysimum(エリシムム属(地上部))	イスラエル	○	1	600			1	200
	エチオピア	×	1	500	1	500		
	ケニア	×	20	3,120	13	2,360	11	2,700
	スリランカ	×	11	8,150	12	9,380	11	6,970
	ドイツ	×	3	30				
Escallonia(エスカリニア属)	オランダ	×			1	102		
Eucalyptus gunnii(ガニー)	フランス	○					1	807
Eucalyptus(ユカリキ属)	オランダ	×	1	896				
Euphorbia hypericifolia(ユフォールビア・ヒペリシフォルア(地上部))	ケニア	×			6	6,400	26	36,520
	ニカラグア	×					9	28,400
	ベトナム	×					9	13,300
Euphorbia hypericifolia(ユフォールビア)	スリランカ	×			35	38,777	114	771,104

ホルビア・ヒペリシフォル ア)								
Euphorbia lactea(シュンホウ ウ)	オランダ	×	1	11				
	グアテマラ	×					1	1,000
	タイ	×	8	4,252	23	10,891	5	26,107
	台湾	○	2	503				
	中国	×			5	11,443	6	12,835
Euphorbia pulcherrima(ショウ ジョウホク(ホインセ チア)(地上部))	イタリア	○	30	44,352	42	72,600	74	107,100
	ウガンダ	×	122	136,150	113	171,200	113	195,400
	エチオピア	×	13	15,400	19	15,450	101	29,725
	エルサルバ ドル	×	6	1,800	15	8,400		
	オーストラリア	×	2	50	1	216	4	32
	カリヤ諸 島	×					10	1,500
	ケニア	×	154	199,600	141	240,900	129	218,700
	スリランカ	×	534	926,036	533	885,690	583	837,800
Euphorbia pulcherrima(ショウ ジョウホク(ホインセ チア))	イタリア	○	71	23,810	52	20,370	70	37,700
	ウガンダ	×	3	855	13	16,940	3	855
	オランダ	×			21	3,610		
	ギリシャ	×			45	940	40	1,000
	ケニア	×	8	21,000	7	20,500		
	ベトナム	×	4	72				
Euphorbia stellata(ユーフォルビ ア・ステラタ(飛竜))	イタリア	○	1	1	1	3		
	チェコ	×	2	6				
	ドイツ	×	2	6				
	ベルギー	×	1	2				
Euphorbia(トウタ クサ属(地下部))	オランダ	×	1	25				
	ドイツ	×	6	144				
Euphorbia(トウタ クサ属(地上部))	イスラエル	○	2	450	2	1,400	1	600
	インド	×					3	1,000
	エチオピア	×	2	1,700	2	1,700	2	1,000
	エルサルバ ドル	×	4	400				
	グアテマラ	×					1	50
	ケニア	×	30	55,000	21	36,500	3	2,100
	コスタリカ	○	4	16,100	3	24,000		
	タイ	×					2	900
	ドイツ	×	2	600	2	40		
	ニカラグア	×	8	12,000	11	21,900		
	ベトナム	×			4	3,003	1	2
	台湾	○	5	7,084	3	2,724		
Euphorbia(トウタ クサ属)	イスラエル	○					2	306
	イタリア	○	346	4,753	303	8,255	394	16,083
	インドネシア	×	3	3			2	3

	オランダ	×	23	2,982	13	2,884	18	4,503
	ケニア	×					1	500
	スペイン	○	1	1	1	1	1	150
	スリランカ	×	41	402,317	88	721,214		
	タイ	×	43	7,200	34	7,703	80	8,973
	タンザニア	×	1	5	24	751	10	54
	チェコ	×	45	727	112	2,302	136	2,408
	ドイツ	×	60	727	73	601	243	1,278
	トルコ	×	5	600				
	ハンガリー	×	3	34	2	2		
	フィリピン	×	2	24,680	7	24,820	8	27,890
	ブルガリア	×	2	2			4	6
	ベトナム	×	1	2			4	6
	ベルギー	×	3	13			17	439
	ポーランド	×	2	420	1	1,008		
	マダガスカル	×	68	4,228	96	6,060	80	10,564
	モザンビーク	×			8	590	5	530
	レニオン	×	2	3				
	ロシア	×			1	3		
	韓国	×	20	488	6	656	7	41
	台湾	○	22	17,884	14	11,415	12	16,141
	中国	×	6	72,062	6	66,068	38	145,943
	南アフリカ	×	11	212	20	982	28	1,391
	米国	○	3	9	66	116		
Euryops pectinatus(イウリオプス・ペクティナツス(地上部))	ベトナム	×			3	5,700	9	15,150
Euryops pectinatus(イウリオプス・ペクティナツス)	ベトナム	×					4	14,389
Euryops(イウリオプス属(地上部))	ベトナム	×			1	200		
Fatsia japonica(ヤツテ)	オランダ	×	1	840	1	672	1	150
	ベルギー	×	1	520				
	中国	×	15	40,270	16	67,772	13	40,204
Ficus carica(イチジク(地上部))	アフガニスタン	×			1	21		
	アルバニア	×					16	240
	キプロス	×			17	93	21	216
	タイ	×	13	85	23	133	27	513
	ベトナム	×					1	370
	マルタ	×					1	80
	マレーシア	×					3	373

	韓国	×					1	10
	中国	×	1	3				
	米国	○			26	163	22	188
Ficus carica(イチジク)	アイルランド	×					1	636
	アルバニア	×					1	15
	オーストラリア	×					1	2
	オランダ	×	6	684	9	2,579	5	1,405
	キプロス	×					7	193
	タイ	×	7	34	19	108	37	528
	チェコ	×					2	10
	ニューゼーランド	×					3	513
	フランス	○			1	50		
	ベトナム	×					2	2
	マレーシア	×					1	113
	韓国	×					1	10
	米国	○			8	47	2	66
Fragaria X ananassa(オランダイチゴ)	シンガポール	×	1	1				
Fraxinus(トネリコ属)	中国	×			1	9		
Ginkgo biloba(イチョウ)	オランダ	×	1	10				
Gleditsia triacanthos(アメリカサカキ)	オランダ	×					1	15
Grevillea juniperina(グレヴィリア・ユニペリナ)	オランダ	×					1	30
Hebe(ハハ属(地上部))	トルコ	×	7	350			6	15,606
	ベトナム	×			44	940		
Hebe(ハハ属)	オランダ	×	3	404	6	1,248	12	16,920
	英国	×					7	28
Hedera helix(セイヨウキヅタ(地上部))	ウガンダ	×	11	11,000				
	オランダ	×	3	70,000				
	グアテマラ	×	2	55,000	2	10,000		
	ケニア	×	7	1,400				
	スリランカ	×	60	24,600				
	ベトナム	×	3	8,000	25	96,200	62	265,740
	中国	×			7	41,000	6	128,001
Hedera helix(セイヨウキヅタ)	スリランカ	×	15	162				
	ベトナム	×	3	13,500			8	20,200
	マレーシア	×	6	500	4	1,710		
	中国	×					4	70,822
	イスラエル	○			4	200	1	200

Helianthus annuus(ヒマワリ(地上部))	ウガンダ	×	9	125,100				
	ケニア	×	31	128,600	33	314,440	49	353,740
Helianthus annuus(ヒマワリ)	オランダ	×					6	15,616
	ケニア	×			1	25,700	3	300
Helianthus debilis(ヒメヒマワリ)	ベトナム	×			1	10		
Helianthus(ヒマワリ属)	オランダ	×	4	11,700	7	13,100	5	12,050
	ポーランド	×	1	504				
Helichrysum bracteatum(ムギワラギク(地上部))	ウガンダ	×					6	8,700
	オーストラリア	×	1	40	1	32	8	64
	メキシコ	○	20	18,500	5	9,700	10	15,300
Helichrysum bracteatum(ムギワラギク)	ウガンダ	×			7	5,800		
Helichrysum italicum(ヘリクリスム・イタリクム(地上部))	イスラエル	○	2	800	1	600		
	ケニア	×	2	200	2	2,900	3	5,000
	ベトナム	×					15	38,300
Helichrysum italicum(ヘリクリスム・イタリクム)	イスラエル	○					1	153
	ベトナム	×	2	9,000	10	30,569	21	74,320
Helichrysum stoechas(ヘリクリスム・ストエカス(地上部))	ケニア	×			2	1,600		
Helichrysum(ヘリクリスム(ムギワラギク)属(地上部))	イスラエル	○	1	800	3	1,100	2	600
	ウガンダ	×	6	2,900				
	ケニア	×	2	204	3	205	7	620
	メキシコ	○			12	16,600		
Helichrysum(ヘリクリスム(ムギワラギク)属)	イスラエル	○			1	153	3	459
	ウズベキスタン	×					1	1
	オランダ	×	7	2,454	4	3,280	4	5,450
	ベトナム	×	1	3,100	1	2,200	1	1,000
Heliotropium(キタチルリソウ属(地上部))	コスタリカ	○	15	31,800	12	42,100	8	20,300
	スリランカ	×			4	1,650	3	1,100
	ドイツ	×					1	100
Heliotropium(キタチルリソウ属)	スリランカ	×					12	17,594
Hemerocallis(ワスレグサ属(地下部))	オランダ	×	3	75				
Hemerocallis(ワスレグサ属)	オランダ	×	21	34,000	13	32,350	6	23,400
	米国	○	2	70	2	73	1	15
Hevea brasiliensis(パームノキ)	インドネシア	×	1	20	2	40		

Hibiscus rosa-sinensis(フツツクゲ(地上部))	ベトナム	×	34	19,200	29	13,800	36	14,300
	台湾	○	4	345			1	3,120
Hibiscus rosa-sinensis(フツツクゲ)	デンマーク	×	19	163	21	108		
	ベトナム	×	307	393,040	340	418,040	387	424,530
Hibiscus syriacus(ムクゲ)	オランダ	×	3	90			1	100
	フランス	○	3	147				
Hibiscus(フヨウ属(ハイビスカス)(地上部))	トンガ	×	1	3				
	台湾	○	8	17				
Hibiscus(フヨウ属(ハイビスカス))	ハワイ諸島	×			1	1		
	米国	○	2	2	2	60		
Hydrangea paniculata(ノリウツギ(地上部))	オランダ	×	4	3,000				
Hydrangea paniculata(ノリウツギ)	オランダ	×	15	7,344	38	17,911	34	24,664
	米国	○			6	180		
Hypericum perforatum(=Hypericum officinale)(ヒペリックム・ヘルフォラツム(地上部))	イスラエル	○					12	1,200
Hypericum(オトギリソウ属(地上部))	ウガンダ	×	1	1,000				
Hypericum(オトギリソウ属)	オランダ	×	18	1,326	10	1,934	6	846
Ilex aquifolium(セイウヒイギ)	オランダ	×	3	90				
Ilex crenata(イヌツゲ)	オランダ	×	1	20				
Ilex(イチノキ属)	オランダ	×	6	4,065	3	615	6	1,462
	中国	×			1	11,400		
	米国	○			1	38		
Juglans regia(ヘルクヤグルミ)	オランダ	×			2	10		
Lagerstroemia indica(サルスベリ)	中国	×	1	100				
	米国	○			1	30	3	4,560
Laurus nobilis(ゲッケイジュ)	イスラエル	○	1	1,260				
	オランダ	×	1	100	3	1,004		
	イスラエル	○	51	78,225	64	52,875	40	40,000
	エチオピア	×	4	64,600	10	114,800	12	118,100

Lavandula(ラヴァン トウ(ラバンスユウ) 属(地上部))	グアテマラ	×					2	200
	ケニア	×	43	167,504	54	311,869	48	242,544
	コロンビア	×	3	1,700	11	11,850	5	15,800
	スペイン	○	4	240	5	520	2	700
	デンマーク	×					11	1,358
	ベトナム	×	23	45,400	30	62,205	41	111,300
	中国	×	24	74,628	14	63,883	6	32,900
Lavandula(ラヴァン トウ(ラバンスユウ) 属)	イスラエル	○	13	2,588	18	3,816	21	5,386
	ウガンダ	×	1	1,000				
	エチオピア	×			6	9,000		
	オランダ	×	26	6,171	16	5,408	2	2,116
	グアテマラ	×					10	5,950
	ケニア	×	17	23,322	23	23,738	22	30,056
	スペイン	○					5	260
	ベトナム	×	15	7,600	16	4,720	3	900
	ポーランド	×	1	84				
	英国	×					1	1
	中国	×			3	10,700		
	米国	○	1	100				
Lepidium sativum(コショウソウ)	ケニア	×	1	100	2	400		
Lepidium(マメゲン バ イナス 属(コショウ ソウ 属 ))	ケニア	×			1	200	1	600
Ligustrum ovalifolium(オハバ イタ)	オランダ	×					2	200
Ligustrum(イタ イタ 属(地上部))	ベトナム	×					9	55,600
Ligustrum(イタ イタ 属)	オランダ	×	2	352				
	ベトナム	×	4	14,428	10	26,950	21	62,803
	中国	×			1	12		
Lippia nodiflora (=Phyla nodiflora)(イワダレ ソウ)	韓国	×	4	8				
Lonicera periclymenum(ニ オイントウ)	オランダ	×	2	194	1	250		
Lonicera(スイカス ラ 属)	オランダ	×	3	1,274	2	955	2	600
Lupinus(ルビ ス 属)	オランダ	×	4	606				
Magnolia coco(トキワレンゲ)	タイ	×			1	9		
	オランダ	×	1	82	1	80	1	80

Magnolia denudata(ハクモクレン)	台湾	○					1	20
Magnolia grandiflora(タイサンボク)	オランダ	×					2	300
Magnolia soulangeana(ニシキモクレン)	オランダ	×			2	59	2	50
	中国	×	1	800	3	1,900	2	1,400
Magnolia stellata(シテコブシ)	オランダ	×			1	20		
Magnolia(モクレン属)	オランダ	×	2	550	2	1,550	2	1,800
	韓国	×			1	15		
	中国	×	1	128				
Melissa officinalis(メリッサ・オッフイキナリス)	イスラエル	○	1	459				
Morus alba(トウケワ)	オランダ	×			1	200		
	中国	×			1	200	2	300
Morus nigra(クロミゲワ(地上部))	キプロス	×			1	1		
Morus nigra(クロミゲワ)	オランダ	×			1	360		
Nandina domestica(ナンテン)	アイルランド	×	4	12,180	4	7,788	3	3,276
	オランダ	×	2	9,763	1	1,680	1	1,664
Olea europaea(オリーブ(地上部))	イタリア	○			1	100		
	スペイン	○	15	600				
Olea europaea(オリーブ)	イタリア	○	38	11,220	41	12,942	29	25,693
	オーストラリア	×					5	2,000
	スペイン	○	27	472	24	611	12	456
	チェルジア	×			4	1,000		
	トルコ	×	3	6,310	2	5,004	1	2,700
Olea(オリーブ属)	アラブ首長国連邦	×					1	4
	イタリア	○					1	22
Osteospermum(オステオスペルムム属(地上部))	イタリア	○					1	70
	ウガンダ	×	60	53,600	91	148,050	12	1,500
	エチオピア	×	80	159,700	74	204,900	79	224,500
	カナリア諸島	×					1	200
	ケニア	×	49	11,470	49	35,637	366	334,876
	スペイン	○	6	850	1	200		
	スリランカ	×	85	39,940	90	41,630	97	38,025

	ドイツ	×	1	150	6	800		
	ニカラグア	×	166	404,600	149	148,800	115	126,100
	ベトナム	×	303	290,790	283	219,050	86	55,020
Osteospermum(オステオスペルム属)	オランダ	×			4	416	1	104
	ベトナム	×			2	1,400		
Panicum(パニカム属)	オランダ	×	1	100	5	496	2	300
	ホーランド	×	1	40				
Parthenocissus(パルテノシッサ属(地上部))	スリランカ	×	6	10,800				
Parthenocissus(パルテノシッサ属)	フィリピン	×	14	124,000	5	110,500	3	35,000
Pelargonium grandiflorum(材バナテンジクアオイ(地上部))	ケニア	×					5	250
Pelargonium grandiflorum(材バナテンジクアオイ)	オランダ	×	17	652	7	4,138	14	8,181
Pelargonium graveolens(ニオイテンジクアオイ(地上部))	ベトナム	×			13	13,760	5	6,700
Pelargonium graveolens(ニオイテンジクアオイ)	ベトナム	×					1	1,000
Pelargonium peltatum(ツタバテンジクアオイ(地上部))	エチオピア	×	25	14,500	14	7,900	9	5,500
	ケニア	×	10	1,600	41	11,500	34	12,000
Pelargonium peltatum(ツタバテンジクアオイ)	オランダ	×	13	2,394	9	5,361	3	2,016
	ケニア	×			3	2,300		
	ドイツ	×					1	1,000
Pelargonium zonale(モンテンジクアオイ(地上部))	エチオピア	×	56	140,600	41	139,300	38	88,500
	ケニア	×	113	46,200	134	75,588	142	100,420
	スリランカ	×					1	100
Pelargonium zonale(モンテンジクアオイ)	イタリア	○					1	300
	エチオピア	×			5	6,000	11	46,400
	オランダ	×	6	1,848	8	3,686	15	30,308
	ケニア	×	15	14,586	11	13,976	38	41,215
	スリランカ	×	152	105,445	137	123,147	121	125,251
Pelargonium(ペラルゴニウム属(地上部))	イスラエル	○	1	200	1	2,100	2	800
	エチオピア	×	70	64,700	35	57,000	116	144,100
	グアテマラ	×	153	83,900	130	56,800	172	57,150
	ケニア	×	383	404,313	510	415,008	318	331,610
	ドイツ	×	27	7,810	59	9,775	14	1,400
	トルコ	×					1	2
	ベトナム	×			1	1,800	1	30

	モザンビーク	×			1	60		
Pelargonium(ハルコニウム属)	イタリア	○	1	2				
	エチオピア	×					28	5,600
	オランダ	×	11	8,385			9	4,203
	ケニア	×	158	154,233	264	244,968	250	207,767
	ジンバブエ	×			3	780	4	465
	スペイン	○	4	9	1	1		
	タイ	×			1	2	4	54
	タンザニア	×			69	6,321	119	5,711
	チェコ	×	24	600	22	340	34	435
	ドイツ	×	810	488,090	701	397,262	660	399,336
	ハンガリー	×			2	39		
	マダガスカル	×			2	3		
	モザンビーク	×	2	97	51	3,603	1	50
	中国	×			1	160	4	2,250
	南アフリカ	×	29	653	26	418	12	814
	米国	○	1	1	2	10	1	19
Pennisetum alopecuroides(チカラシバ)	アイルランド	×			1	252		
	オランダ	×	1	96				
	グアテマラ	×			2	2,160	4	4,160
	ドイツ	×	1	100				
	ポーランド	×	1	84				
	米国	○					1	59
Pennisetum purpureum(ネオグラス(地上部))	南アフリカ	×					2	43,360
Pennisetum(チカラシバ属)	オランダ	×	1	100	1	250		
	グアテマラ	×	8	10,440	2	3,240	1	1,080
	中国	×					1	510
	米国	○	4	4				
Persea americana(アホカト(地上部))	ニュージールランド	×					4	4,000
	米国	○			1	200	1	100
Persea americana(アホカト)	タイ	×	1	11				
	チリ	×	1	200				
	ニュージールランド	×	1	99				
	台湾	○	1	310	22	1,118	10	480
Persicaria odorata(ハルシ)	イスラエル	○					1	100
	ベトナム	×			4	48,700		

カリア・オド`ラツム(地上部))								
Persicaria odorata(=Polygonum odoratum)(`ルシカリア・オド`ラツム)	イスラエル	○					1	153
Persicaria(イタテ`属)	オランダ`	×			3	718	7	1,512
	ベトナム	×			1	3		
Phlomis(オキセワタ属)	オランダ`	×	1	100				
Phoenix canariensis(カナリヤシ)	インドネシア	×					1	1
Phoenix dactylifera(ナツメヤシ)	オーストラリア	×			2	45		
	スペイン	○	1	60			2	140
	タイ	×					2	208
	台湾	○	2	78				
Phoenix reclinata(セネガ`ルヤシ)	タイ	×					1	11
Phoenix sylvestris ROXB.(サトウナツメヤシ)	台湾	○	1	15				
Phoenix zeylanica(セイロンナツメヤシ)	スリランカ	×	1	10				
Phoenix(ナツメヤシ属)	インドネシア	×					1	3
	スペイン	○	2	20				
	台湾	○	4	133				
	中国	×					1	1,010
Phormium cookianum (=Phormium colensoi)(フォルミウム・クッキアヌム)	アイルランド`	×	2	3,528	1	4,284		
	オランダ`	×	1	1,344				
	英国	×					1	2
Phormium tenax(ニューサイラン(地上部))	コスタリカ	○					2	800
Phormium tenax(ニューサイラン)	オランダ`	×	2	234				
	ケニア	×	3	4,300				
	コスタリカ	○	9	8,000	11	14,000	15	9,550
	中国	×	5	3,500	8	11,900	10	21,800
	米国	○					1	432
	ケニア	×	3	5,300				
	コスタリカ	○	2	750	1	500	23	14,750

Phormium(フォルミウム属(ニューサイラン属))	中国	×	6	10,000	4	11,800		
Pittosporum crassifolium(ヒツトスポルム・クラッシフォリウム)	オランダ	×	1	100				
Pittosporum eugenioides(ヒツトスポルム・エウゲニオイデス)	オランダ	×			1	30	1	60
Pittosporum tenuifolium(クハトベラ)	オランダ	×	9	540	1	60		
Pittosporum(トハラ属)	オランダ	×	1	603				
Platanus acerifolia(モジバサカノキ)	スペイン	○			1	8		
Polygonum( (利用停止) 好属(地上部))	ベトナム	×	2	8,100				
Polygonum( (利用停止) 好属)	オランダ	×	4	407				
	フィリピン	×					1	4
	ポーランド	×	2	420				
Polygonum(ミヤナギ属(地上部))	ベトナム	×			7	43,400	21	68,780
Portulaca oleracea(スベリヒユ(地上部))	イスラエル	○	12	580	8	240		
	ウガンダ	×	6	600				
	ケニア	×	96	57,160	94	57,630	122	178,090
	コスタリカ	○	1	200			5	7,550
	ベトナム	×	89	221,040	195	557,760	144	361,460
Portulaca oleracea(スベリヒユ)	ベトナム	×			4	9,100	19	36,466
Prunus amygdalus(アーモンド)	米国	○			4	12		
Prunus cerasus(スミセイウミザクラ)	ドイツ	×					1	25
Prunus persica(桃)	スペイン	○			1	20		
Prunus(サクラ属)	スペイン	○			5	20		
	フィリピン	×					1	20
	台湾	○			1	48		

Psidium guajava(パシヅロウ(グアバ))	ニューギニア	×			1	154		
	ベトナム	×					1	80
Psidium(パシヅロウ属)	ベトナム	×			1	3		
Quercus robur(オクシュウナラ)	オランダ	×					1	20
Quercus suber(コルクガシ)	オランダ	×			1	230		
	スペイン	○	1	10	1	26		
Quercus(コナラ属(カシ属))	スペイン	○	1	3				
Rhus(ウルシ属)	オランダ	×	3	64	1	30	4	280
	米国	○			1	38		
Rosa chinensis(コウシンバラ(地上部))	オーストラリア	×					6	4,450
Rosa damascena(タマスクバラ)	ブルガリア	×			2	3,000		
Rosa floribunda(ロザ・フロリバンダ(地上部))	米国	○	6	44				
Rosa multiflora(ノイバラ)	オランダ	×			3	10,300	4	29,009
Rosa rugosa(ハマナス)	オランダ	×	2	50				
	フランス	○					3	473
	中国	×			1	47		
Rosa wichuraiana(テリハノイバラ)	中国	×			1	100		
Rosa(ハナ属(地下部))	オランダ	×	7	256				
Rosa(ハナ属(地上部))	オランダ	×	144	4,918	108	2,612	100	1,670
	ケニア	×	33	656	33	330		
	デンマーク	×	35	35,815	7	2,917		
	ドイツ	×	70	1,255	84	1,588	88	1,589
	フランス	○	73	385	82	666	87	513
	英国	×	39	192	19	58		
	米国	○			6	57	52	358
Rosa(ハナ属)	オランダ	×	420	43,262	340	41,740	364	34,210
	ケニア	×					13	312
	スリランカ	×	1	150				
	デンマーク	×	18	81	8	28	8	28
	ドイツ	×	13	650			13	625
	フランス	○	38	53			100	100

	ブルガリア	×			1	6		
	ベトナム	×			1	10		
	ベルギー	×	62	310	9	45	85	531
	英国	×	674	68,040	683	77,435	539	61,483
	韓国	×	1	3	6	18	5	15
	中国	×					1	4
Rosmarinus officinalis(マンネロウ(ローズマリー)(地上部))	イスラエル	○	12	9,100	43	12,000	3	2,600
	エチオピア	×			2	1,000	2	1,000
	ケニア	×					1	1,000
	ベトナム	×					27	61,110
Rosmarinus officinalis(マンネロウ(ローズマリー))	イスラエル	○			2	306	17	9,945
	エチオピア	×			2	1,000		
	英国	×					1	1
Rubus idaeus(ヨーロッパキイチゴ(ラズベリー))	チリ	×			1	20		
	英国	×	18	162	8	140	14	336
	米国	○	1	20				
Rubus(キイチゴ属)	英国	×			11	83		
	中国	×			1	15		
Salix(ヤナギ属)	オランダ	×	1	50				
	スペイン	○			1	10		
	韓国	×			1	10		
Salvia azurea(アズール)	オランダ	×	1	24				
Salvia farinacea(ブルーサルビア(地上部))	ケニア	×	25	12,300	45	30,200	124	183,940
Salvia farinacea(ブルーサルビア)	ケニア	×					6	4,200
Salvia greggii(アキハヒサルビア(地上部))	イスラエル	○	2	1,000	2	200		
	コロンビア	×	111	154,850	101	167,850	93	173,000
Salvia officinalis(ヤクヨウサルビア(地上部))	イスラエル	○			1	1,200		
	ベトナム	×					10	16,400
Salvia officinalis(ヤクヨウサルビア)	アラブ首長国連邦	×					1	1
Salvia pratensis(フラテンシ)	オランダ	×	1	150				
	米国	○	6	150				
Salvia splendens(サルビア(地上部))	コスタリカ	○	73	119,850	64	116,280	34	65,830
	スリランカ	×			25	8,800	95	139,635
Salvia splendens(サルビア)	スリランカ	×					5	1,135

Salvia(サルウイア属 (サルビア属)(地下部))	オランダ	×	2	50				
Salvia(サルウイア属 (サルビア属)(地上部))	イスラエル	○	24	10,575	9	3,900	5	700
	ケニア	×	151	172,106	220	288,545	154	204,332
	コロンビア	×	5	3,150	2	3,000		
	スリランカ	×			6	1,500		
	ニカラグア	×	20	80,000	25	77,100	21	61,800
Salvia(サルウイア属 (サルビア属))	イスラエル	○			1	153	12	3,672
	オランダ	×	12	1,172	8	3,109	10	2,858
	ケニア	×			1	208		
	スペイン	○					3	312
	米国	○	9	201				
Sambucus nigra(セイヨウニワトコ)	オランダ	×	1	1,500				
	オランダ	×	1	104	1	1,151	3	3,944
	英国	×					1	4
Sambucus(ニワトコ 属(地上部))	カナダ	○					2	1,249
Santolina chamaecyparissus(サントリナ(地上部))	イスラエル	○			1	1,500	1	100
Santolina chamaecyparissus(サントリナ)	グアテマラ	×					1	50
Santolina(サントリナ 属(地上部))	イスラエル	○	1	1,000				
Santolina(サントリナ 属)	イスラエル	○					1	153
Scabiosa atropurpurea(セイヨウマツムシソウ(地上部))	イスラエル	○			10	1,710		
	ケニア	×	41	22,100	14	6,000	18	17,200
Scabiosa atropurpurea(セイヨウマツムシソウ)	ケニア	×					3	2,200
Scabiosa columbaria(コロンバ ーリア(地上部))	イスラエル	○	1	2,000				
	エチオピア	×	2	1,900	2	2,000	8	4,900
	ケニア	×	8	12,800	12	10,425	14	12,800
	コロンビア	×	3	700				
Scabiosa columbaria(コロンバ ーリア)	オランダ	×			1	100		
Scabiosa(マツムシソウ 属(地上部))	イスラエル	○	40	39,680	54	52,356	179	61,910
	ケニア	×	73	24,930	126	56,770	86	33,120
Scabiosa(マツムシソウ 属)	イスラエル	○			6	520	16	13,197
	オランダ	×	2	186	3	936	7	2,620

	ケニア	×			10	4,500	9	2,100
	ポｰランド	×	1	102				
Schinus molle(コ シヨウホク)	スペイン	○	1	30	1	30	3	34
Senecio cineraria(シロタエギ ク(地上部))	ケニア	×					2	1,200
Senecio cruentus(シネリア (地上部))	ケニア	×	4	400	1	100	4	600
	スリランカ	×					16	3,508
Senecio cruentus(シネリア)	ケニア	×			3	300		
Senecio mikanioides(ツタ ギク(地上部))	ケニア	×			1	750		
Senecio rowleyanum(トウ レイアヌム(ミトリス ス))(地上部))	ケニア	×					2	400
Senecio rowleyanum(トウ レイアヌム(ミトリス ス))	フィリピン	×			3	3,500	4	6,000
	中国	×					1	20
	米国	○					1	3
Senecio scaposus(スカホ ス(シンゲツ))(地上 部))	米国	○	2	2,800				
Senecio(セネキア属 (サウキク属)(地上 部))	イスラエル	○					4	600
	グアテマラ	×			5	700	3	400
	ケニア	×	2	250	7	1,250	2	200
	コスタリカ	○	1	50				
	中国	×					1	1,000
Senecio(セネキア属 (サウキク属))	イタリア	○	1	6				
	オランダ	×	1	3				
	チェコ	×	2	30	8	72	6	79
	ハンガリー	×	3	3	2	2	1	10
	フィリピン	×	2	2,250	3	11,750	4	15,750
	ブラジル	○			1	1		
	モザンビーク	×			1	30		
	韓国	×	2	13	3	203		
	香港	×					2	7
	中国	×			2	230	1	24
	南アフリカ	×	2	7	2	2		
	米国	○			1	3	1	216
Senna(セナ属(地 上部))	タイ	×					1	10

Senna(センナ属)	ウスベキタン	×					1	1
	タイ	×			5	147	12	278
	ドイツ	×					1	1
	マダガスカル	×			14	1,002	35	2,581
Solanum melongena(ナス)	韓国	×	120	1,235,745	119	1,083,285	116	1,106,700
Solanum(ナス属)	韓国	×	13	296,205	12	299,565	12	270,060
Solidago canadensis(カタアキノキノソウ(地上部))	ケニア	×			2	1,000	1	200
Solidago canadensis(カタアキノキノソウ)	イスラエル	○			2	340	1	200
	ケニア	×			7	2,900	4	3,000
Solidago(アキノキノソウ属(地上部))	ケニア	×	4	416	5	939		
Solidago(アキノキノソウ属)	ケニア	×			2	1,200	6	622
	米国	○	1	2	1	1		
Strelitzia reginae(ゴクラクチョウカ)	オランダ	×	4	4,300			1	425
	中国	×	13	14,433	28	51,720	28	46,237
Streptocarpus(ストレプトカルパス属(地上部))	オーストラリア	×	1	24				
Streptocarpus(ストレプトカルパス属)	オランダ	×			1	48		
Syringa vulgaris(ムラサキハントイ)	オランダ	×	6	180	4	130	6	180
Thymus vulgaris(キタチヤクリコウ(地上部))	イスラエル	○	3	10,400			1	800
	ベトナム	×			2	950	7	12,400
Thymus vulgaris(キタチヤクリコウ)	ベトナム	×			1	470		
Tillandsia usneoides(サルオガセモトキ(テイランジア・ウスネイデス)(地上部))	タイ	×			1	136		
	フィリピン	×			1	10	2	35
Tillandsia usneoides(サルオガセモトキ(テイランジア・ウスネイデス))	グアテマラ	×	1	130	2	300	1	5
	コロンビア	×	1	180	46	14,315	2	3,100
	スリランカ	×			1	1,890		
	タイ	×	91	18,172	89	25,198	110	28,287
	ドイツ	×					7	105

	フィリピン	×	11	8,750	8	2,350	2	150
	マレーシア	×					1	2
	韓国	×	1	200				
	中国	×			1	4,000		
Trifolium repens(シロツメクサ(地上部))	デンマーク	×	6	600				
	ベトナム	×			37	53,100	64	75,880
Trifolium repens(シロツメクサ)	ベトナム	×	6	10,400	51	199,572	103	310,803
Trifolium(シヤヅメクサウ属)	ベトナム	×	2	1,500				
Ulmus pumila(チャイニーズエilm)	中国	×	2	100				
Vaccinium corymbosum(ヌスノキ(ブルーベリー))	中国	×	1	10				
	米国	○	2	30	2	30		
Vernonia(ヴァーノニア属(地上部))	タイ	×					1	13
	ベトナム	×					1	3
Vernonia(ヴァーノニア属)	オランダ	×	1	200			1	250
	米国	○	1	25				
Veronica buxifolia(ブクシフォリア(地上部))	ケニア	×			2	1,700		
Veronica longifolia(ロンギフォリア(地上部))	イスラエル	○	3	60	1	150	6	1,575
	ウガンダ	×	5	5,000				
	ケニア	×	24	26,300	20	15,550	26	16,400
	コロンビア	×	9	11,300	14	14,950	18	16,700
Veronica longifolia(ロンギフォリア)	イスラエル	○			5	3,730	5	945
	オランダ	×	3	3,380				
	ケニア	×					1	150
	ドイツ	×	1	100				
	ポーランド	×	1	84				
Veronica spicata(スビカータ(地上部))	エチオピア	×					2	1,000
	オランダ	×	3	1,200				
	ケニア	×	2	4,000				
Veronica spicata(スビカータ)	オランダ	×	2	202	2	4,060		
Veronica(クワガタウ属(地上部))	イスラエル	○	1	100				
	エチオピア	×					3	1,500
	ケニア	×	2	2,000	4	1,000		
Veronica(クワガタウ属)	オランダ	×			1	400	2	332
	ケニア	×					7	700
Viburnum tinus(ウイブールヌム・ティヌス)	オランダ	×	1	300				
Vinca major(ツルニチチウ(地上部))	グアテマラ	×	2	100				
	ベトナム	×			14	55,200	22	77,400

Vinca major(ツルニチソウ)	オランダ	×	1	102				
	ベトナム	×			2	3,000		
Vinca minor(ヒメツルニチソウ(地上部))	グアテマラ	×	3	150				
Vinca(ツルニチソウ属(地上部))	ベトナム	×			2	10	4	3,900
Vitex agnus-castus(イタリアンジンボク)	オランダ	×					1	480
	米国	○			3	190	2	76
Vitis vinifera(ヨーロッパブドウ(地上部))	米国	○	1	22	4	24	3	22
Vitis vinifera(ヨーロッパブドウ)	イタリア	○	1	100	6	150		
	スイス	×					1	25
	ドイツ	×	4	100			1	109
Vitis(ブドウ属(地上部))	ウズベキスタン	×					1	18
	韓国	×	3	117				
	米国	○					10	1,167
Vitis(ブドウ属)	イタリア	○	11	295				
	オーストラリア	×	26	130				
	ジョージア	×	4	100				
	ニュージーランド	×	2	110	7	401		
	韓国	×	1	20			1	20
	米国	○	25	778	17	1,851	12	601
Westringia fruticosa(ウエストリングア・フルティコサ)	オランダ	×					1	49

(2) 栽植用植物 (組織培養)

単位 (数量) : 個

植物名	生産国	発生国	2020		2021		2022	
			件数	数量	件数	数量	件数	数量
Acacia(アカシア属)	ベトナム	×					2	7
Alternanthera(アタナンセラ属)	インド	×	16	3,450	18	3,775	17	2,856
	インドネシア	×	4	25				
	シンガポール	×	32	499	21	81	18	65
	スリランカ	×	2	15				
	タイ	×	7	90	14	195	25	406
	デンマーク	×	40	3,333	51	3,549	50	2,151
	ポーランド	×			1	49		

Artemisia(ヨモギ属)	米国	○					2	16
Brassica oleracea var. italica(ブロッコリー)	中国	×	2	237				
Carex(スガ属)	ニュージーランド	×					1	75
Catharanthus roseus(=Vinca rosea)(ニチニチソウ)	ベトナム	×	5	240	37	175	9	342
Cordyline australis(ニオイシロラン)	中国	×	1	3,863	6	9,833	3	8,585
Cordyline stricta(コルテイヤネストリクタ)	米国	○					3	50
Cordyline(センネホク属)	ニュージーランド	×			4	8		
	中国	×	8	960	3	448	1	417
	米国	○					3	48
Cortaderia(シガネソウ属)	オランダ	×			1	20		
Erysimum cheiranthoides(エリシム・ケイラントイリス)	オランダ	×			1	2		
Erysimum(エリシム属)	オランダ	×					3	3
Eucalyptus(ユーカリヤシ属)	ベトナム	×					1	5
Euphorbia(トウダイクサ属)	米国	○	1	4				
Fragaria X ananassa(オランダイチゴ)	米国	○	1	7				
Fragaria(オランダイチゴ属)	米国	○			3	42		
Helianthus annuus(ヒマワリ)	ポーランド	×					1	1
Helianthus debilis(ヒメヒマワリ)	ベトナム	×					1	12
Hibiscus moscheutos(アメリカアザミ)	米国	○	3	7				
Lagerstroemia indica(サルスベリ)	米国	○			2	4		
	オランダ	×	1	3	1	4	1	4

Lavandula(ラヴァン トウラ(ラバンジュウ) 属)	米国	○			3	7		
Osteospermum( オステオスペルム属)	米国	○					1	2
Panicum(ヒメ 属)	米国	○	1	2			1	4
Phormium tenax(ニューサイラン)	中国	×	4	93			1	30
Phormium(フォルミ ウム属(ニューサイラン 属))	ニュージ ーランド	×			1	4		
Portulaca oleracea(スベリヒ ユ)	ホーランド	×					8	9
Rubus idaeus(ヨ ーロッパキイチゴ(ラス ベリー))	米国	○			1	50		
Rubus(キイチゴ属)	米国	○	3	60				
Salvia(サルビア属 (サルビア属))	オランダ	×					2	8
	ドイツ	×	1	2	3	12		
	米国	○	2	3	2	2		
Sambucus(ニワトコ 属)	ベトナム	×			1	10		
Scabiosa columbaria(コロン バリア)	オランダ	×			1	4		
Scabiosa(マツムシ ウ属)	オランダ	×			2	4		
Senecio cruentus(シネリア)	インド	×	4	840	4	978	8	1,115
	オーストラリア	×	5	43	31	91	2	67
Vaccinium corymbosum(マ スキノ(ブルーベリー))	米国	○	4	40			1	50
Vaccinium(スノキ 属(コケモモ属))	米国	○	7	105				
Veronica longifolia(ロンギフ ォリア)	オランダ	×					6	112
Veronica spicata(スピカタ)	米国	○	4	109	1	185	1	177
Vinca minor(ヒメツ ルニチニチソウ)	ドイツ	×	1	2				

(3) 栽植用球根

単位(数量): 個

植物名	生産国	2020	2021	2022
-----	-----	------	------	------

		発 生 国	件 数	数 量	件 数	数 量	件 数	数 量
Cyperus(カヤツリク サ属)	ペール	×			1	4		
Helianthus tuberosus(キイロ)	米国	○	1	39				
Hemerocallis(ワス レクサ属)	オランダ	×	2	35,000			2	7,000
Panicum(ヒメ属)	英国	×	1	1				
Pelargonium(ペ ラルゴニウム属)	南アフリカ	×	2	4			4	11
Trifolium(シヤヅク クウ属)	ドイツ	×					1	4

## 引用文献

- Agdia (2021) PathoScreen® Kit for *Xylella fastidiosa* (Xf). (online), available from <<https://orders.agdia.com/pathoscreen-xf>>, (accessed 2022-10-06).
- ANSES (2017) Surveillance biologique du territoire (SBT) dans le domaine végétal. *Xylella fastidiosa* subsp. multiplex, Guide de reconnaissance des plantes hôtes potentielles en France. French Agency for Food, Environmental and Occupational Health & Safety (ANSES). (online), available from <<https://agriculture.gouv.fr/telecharger/85852>>. (accessed 2023-06-10).
- Australian Government (2022) Notification of amended emergency quarantine measures for *Xylella* (online), available from <<https://www.agriculture.gov.au/biosecurity-trade/import/goods/plant-products/how-to-import-plants/xylella/notification-amended-emergency-quarantine-measures#nursery-stock-and-plant-tissue-cultures>>, (accessed:2023-07-20).
- Barnard, E. L. (1998) Distribution of *Xylella fastidiosa* in Oaks in Florida and Its Association with Growth Decline in *Quercus laevis*. *Plant Disease* 82: 569-572.
- CABI (2023) *Xylella fastidiosa* In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (accessed 2023-05-26).
- Carlucci, A., F. Lops, G. Marchi, L. Mugnai and G. Surico (2013) Has *Xylella fastidiosa* “chosen” olive trees to establish in the Mediterranean basin? *Phytopathologia Mediterranea* 52: 541–544.
- Chauvel, G., A. Cruaud, B. Legendre, J. F. Germain and J. Y. Rasplus (2015a) MANUEL SUR LES INSECTES VECTEURS POTENTIELS DE XYLELLA FASTIDIOSA EN CORSE Direction régionale de l'alimentation, de l'agriculture et de la forêt de Corse Le ministère de l'agriculture en région. (online), available from <[https://draaf.corse.agriculture.gouv.fr/IMG/pdf/Manuel\\_Vecteurs\\_Xylella\\_octobre\\_2015\\_cle09c763.pdf](https://draaf.corse.agriculture.gouv.fr/IMG/pdf/Manuel_Vecteurs_Xylella_octobre_2015_cle09c763.pdf)>, (accessed 2023-07-26).
- Cervantes, K., A. E. Hilton, R. A. Stamler, R. J. Heerema, C. Bock, X. Wang, Y. Jo, L. J. Grauke and J. J. Randall (2022) Evidence for Seed Transmission of *Xylella fastidiosa* in Pecan (*Carya illinoensis*). *Frontiers in Plant Science* 13: 780335-780335. (online), available from <<https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fpls.2022.780335/full>>(accessed 2023-12-28).
- Chauvel, G., A. Cruaud, B. Legendre, J. F. Germain and J. Y. Rasplus (2015b) Mission d'expertise sur *Xylella fastidiosa* en Corse. Rapport définitif (2015-08-31): 139 pp.
- Coelho, J. H. C., N. L. Ximenes, M. R. Felipe, L. H. Montesino, L. F. Garbim, A. L. Sanches, W. D. Jr. Pria, and P. T. Yamato (2008) Faunistic analysis of sharpshooters (Hemiptera: Auchenorrhyncha, Cicadellidae) in a ‘Westin’ sweet orange orchard. *Neotropical Entomology* 37:449-456.
- Coletta-Filho H. D., S. A. Carvalho, L. F. C. Silva and M. A. Machado (2014) Seven years of negative detection results confirm that *Xylella fastidiosa*, the causal agent of CVC, is not transmitted from seeds to seedlings. *European Journal of Plant Pathology* 139: 593–596.
- Cornara, D., M. Saponari, A. R. Zeilinger, A. de Stradis, D. Boscia, G. Loconsole, D. Bosco, G. P. Martelli, R. P. P. Almeida and F. Porcelli (2017a) Spittlebugs as vectors of *Xylella fastidiosa* in olive orchards in Italy. *Journal of Pest Science* 90: 521-530.
- Cornara, D., V. Cavalieri, C. Dongiovanni, G. Altamura, F. Palmisano, D. Bosco, F. Porcelli, R. P. P. Almeida and M. Saponari (2017b) Transmission of *Xylella fastidiosa* by naturally infected *Philaenus spumarius* (Hemiptera, Aphrophoridae)

- to different host plants. *Journal of Applied Entomology* 141: 80-87.
- Costa, H. S., E. Raetz, T. R. Pinckard, C. Gispert, R. Hernandez-Martinez, C. K. Dumenyo and D. A. Cooksey (2004) Plant hosts of *Xylella fastidiosa* in and near southern California vineyards. *Plant Disease* 88: 1255-1261.
- Costello, M. J., S. J. Steinmu and C. J. Boisseranc (2017) Environmental variables influencing the incidence of Pierce's disease. *Australian Journal of Grape and Wine Research* 23: 287-295.
- De Coll, O. R., A. M. M. D. Remes-Lenicov, J. P. Agostini and S. Paradell (2000) Detection of *Xylella fastidiosa* in Weeds and Sharpshooters in Orange Groves Affected with Citrus Variegated Chlorosis in Misiones, Argentina. In International Organization of Citrus Virologists Conference Proceedings (1957-2010) 14:14.
- DGAV (2020) Atualização da zona demarcada para *Xylella fastidiosa* – maio 2020. (online), available from <<https://www.agroportal.pt/atualizacao-da-zona-demarcada-para-xylella-fastidiosa-maio-2020/>>, (accessed 2023-06-16).
- Dupas, E., M. Briand, M. Jacques and S. Cesbron (2019) Novel tetraplex quantitative PCR assays for simultaneous detection and identification of *Xylella fastidiosa* subspecies in plant tissues. *Frontiers in Plant Science* 10:1732.
- EAEU (2022) Единые карантинные фитосанитарные требования, предъявляемые к подкарантинной продукции и подкарантинным объектам на таможенной границе и на таможенной территории Евразийского экономического союза (Unified phytosanitary quarantine requirements to quarantinable products and quarantinable items at the customs border and customs territory of the Eurasian economic union). (online), available from <<http://www.eurasiancommission.org/ru/act/texnreg/depsanmer/regulation/Pages/%d0%a4%d0%b8%d1%82%d0%be%d1%81%d0%b0%d0%bd%d0%b8%d1%82%d0%b0%d1%80%d0%bd%d1%8b%d0%b5-%d0%bc%d0%b5%d1%80%d1%8b.aspx>>, (accessed 2023-07-21).
- EFSA (2013) Statement of EFSA on host plants, entry and spread pathways and risk reduction options for *Xylella fastidiosa* Wells et al. *EFSA Journal* 11: 3468.
- EFSA (2015) Scientific opinion on the risk to plant health posed by *Xylella fastidiosa* in the EU territory, with the identification and evaluation of risk reduction options. *EFSA Journal* 13: 3989.
- EFSA (2016) Update of a Database of Host Plants of *Xylella fastidiosa*: 20 November 2015. *EFSA Journal* 14: 4378.
- EFSA (2018) Update of the *Xylella* spp. host plant database. Appendix B *Xylella fastidiosa* subspecies in naturally infected plants. *EFSA Journal* 16: 5408.
- EFSA (2020) Update of the *Xylella* spp. host plant database - systematic literature search up to 30 June 2019 (APPROVED: 6 April 2020). *EFSA Journal* 18: 6114.
- EFSA (2022) Update of the *Xylella* spp. host plant database - systematic literature search up to 31 December 2021 (APPROVED: 15 June 2022). *EFSA Journal* 20: 7356.
- EFSA (2023) Update of the *Xylella* spp. host plant database - systematic literature search up to 30 June 2022 (APPROVED: 29 November 2022). *EFSA Journal* 21: 7726.
- Elbeaino, T., T. Yaseen, F. Valentini, I. E. Ben Moussa, V. Mazzoni and A. M. D'onghia (2014) Identification of three potential insect vectors of *Xylella fastidiosa* in southern Italy. *Phytopathologia Mediterranea* 53: 328-332.
- EPPO (2000) Epidemiological studies on grapevine Pierce's disease (*Xylella fastidiosa*) in California, US, EPPO Reporting Service, 2000/104. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-3142>>, (accessed 2023-06-16).
- EPPO (2001) New data on quarantine pests and pests of the EPPO Alert List, EPPO

- Reporting Service, 2001/021. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-2846>>, (accessed 2022-06-15).
- EPPO (2018) *Xylella fastidiosa* in the EPPO region - Special Alert -. (online), available from <[https://www.eppo.int/ACTIVITIES/plant\\_quarantine/shortnotes\\_qps/shortnotes\\_xylella](https://www.eppo.int/ACTIVITIES/plant_quarantine/shortnotes_qps/shortnotes_xylella)>, (accessed 2023-06-15).
- EPPO (2019) First report of *Xylella fastidiosa* subsp. *multiplex* in Portugal. EPPO reporting service no. 01-2019, 2019/017. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-6447>>, (accessed 2023-06-16).
- EPPO GDB (2020) *Xylella fastidiosa*. In: EPPO Global Database (online), available from <<https://gd.eppo.int/taxon/XYLEFA/datasheet>>, (accessed 2023-07-25).
- EPPO GDB (2023) *Xylella fastidiosa*. In: EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/taxon/XYLEFA/hosts>>, (accessed 2023-06-16).
- EPPO (2022) Preliminary evidence of seed transmission of *Xylella fastidiosa* in pecan (*Carya illinoensis*), 2022/133. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-7364>>. (accessed\_2022-07-01)
- EPPO (2023) PM 7/24 (5) *Xylella fastidiosa*. OEPP/EPPO Bulletin. (online), available from <<https://gd.eppo.int/download/standard/148/pm7-024-5-en.pdf>>, (accessed 2023-10-16).
- EUR-Lex (2020) COMMISSION IMPLEMENTING REGULATION (EU) 2020/1201 (online), available from <[https://eur-lex.europa.eu/eli/reg\\_impl/2020/1201/oj](https://eur-lex.europa.eu/eli/reg_impl/2020/1201/oj)>, (accessed 2022-10-12).
- EUR-Lex (2021) COMMISSION IMPLEMENTING REGULATION (EU) 2021/1688 (online), available from <[https://eur-lex.europa.eu/eli/reg\\_impl/2021/1688/oj](https://eur-lex.europa.eu/eli/reg_impl/2021/1688/oj)>, (accessed 2022-10-12).
- FAO (2018) ISPM 27 Annex25 DP 25: Diagnostic protocols for regulated pests DP 25: *Xylella fastidiosa*.
- FAO (2019) Guidelines for the prevention, eradication and containment of *Xylella fastidiosa* in olive-growing areas. (online), available from <<http://www.fao.org/3/i5994en/i5994en.pdf>>, (accessed 2023-06-16).
- Freitag, J.H. (1951) Host range of the pierce's disease virus of grapes as determined by insect transmission. *Phytopathology* 41: 920-934.
- Giampetruzzi, A., M. Saponari, G. Loconsole, D. Boscia, V. N. Savino, R. P. P. Almeida, S. Zicca, B. B. Launda, C. Chacon-Diaz, and P. Saldarelli (2017) Genome-wide analysis provides evidence on the genetic relatedness of the emergent *Xylella fastidiosa* genotype in Italy to isolates from central America. *Phytopathology* 107: 816-827.
- Groenteman, R., S. A. Forgie, M. S. Hoddle, D. F. Ward, D. F. Goeke and N. Anand (2015) Assessing invasion threats: novel insect-pathogen-natural enemy association with native New Zealand plants in southern California. *Biological Invasion* 17: 1299-1305.
- Harper, S. J., L. I. Ward and G. R. G. Clover (2010) Development of LAMP and real-time PCR methods for the rapid detection of *Xylella fastidiosa* for quarantine and field applications. *Phytopathology* 100: 1282-1288.
- Harris, J. L., P. L. Di Bello, M. Lear and Y. Balci (2014) Bacterial leaf scorch in the district of Columbia: distribution, host Range, and presence of *Xylella fastidiosa* among urban trees. *Plant Disease* 98: 1611-1618.
- Hartung, J. S., S. Nian, S. Lopes, A. J. Ayres and R. Brlansky (2014) Lack of evidence for transmission of *Xylella fastidiosa* from infected sweet orange seed. *Journal of Plant Pathology* 96: 497-506.
- Hernandez-Martinez, R., K. A. de la Cerda H. S. Costa, D. A. Cooksey and F. P. Wong (2007) Phylogenetic relationships of *Xylella fastidiosa* strains isolated from ornamentals in southern California. *Phytopathology* 97: 857-864.

- Hilton, A. E., Y. K. Jo, K. Cervates, R. A. Stamler, J. J. Randall, J. M. French, R. J. Heerema, N. P. Goldberg, J. Sherman, X. Wang and L. J. Grauke (2017) First report of pecan bacterial leaf scorch caused by *Xylella fastidiosa* in pecan (*Carya illinoensis*) in Arizona, New Mexico, California, and Texas. *Plant Disease* 101: 1949.
- IPPC (2017) Facing the threat of *Xylella fastidiosa* together. (online), available from <[https://www.ippc.int/static/media/uploads/IPPC\\_factsheet\\_Xylella\\_final.pdf](https://www.ippc.int/static/media/uploads/IPPC_factsheet_Xylella_final.pdf)>, (accessed 2023-06-16).
- Janse, J. D. and A. Obradovic (2010) *Xylella fastidiosa*: Its biology, diagnosis, control and risks. *Journal of Plant Pathology* 92 (Supplement 1): S35-S48.
- Krugner, R., Ledbetter, C. A. and J. Chen (2012) Phenology of *Xylella fastidiosa* and its vector around California almond nurseries: an assessment of plant vulnerability to almond leaf scorch disease. *Plant Disease* 96: 1488-1494.
- Krugner R., M.W. Johnson and J. Chen (2010) Evaluation of pathogenicity and insect transmission of *Xylella fastidiosa* strains to olive plants. California Olive Committee Final Report 2010. (online), available from <<http://calolive.org/wp-content/uploads/Research-Reports-2010.pdf>>, (accessed 2023-06-16).
- Leite, R. M. V. B. C., R. P. Leite Junior and P. C. Ceresini (1997) Alternative hosts of *Xylella fastidiosa* in plum orchards with leaf scald disease. *Fitopatologia Brasileira* 2: 53-57.
- Legendre B, S Mississippi, V Oliver, E Morel, D Cruzillat, K Durand, P Portier, F Poliakoff and MA Jacques (2014) Identification and characterisation of *Xylella fastidiosa* isolated from Coffee plants in France. *Proceedings of the International Symposium on the European outbreak of Xylella fastidiosa in olive, Gallipoli-Locorotondo, Italy*: 27-28.
- Legislation.gov.uk (2021) The Official Controls and Phytosanitary Conditions (Amendment) Regulations 2021. (online), available from <<https://www.legislation.gov.uk/uksi/2021/136/regulation/5>>, (accessed 2022-10-12).
- Li, W. B., W. D. Pria Jr., P. M. Lacava, X. Qin and J. S. Hartung (2003) Presence of *Xylella fastidiosa* in sweet orange fruit and seeds and its transmission to seedlings. *Phytopathology* 93: 953-958.
- Li, W. B., D. C. Teixeira, J. S. Hartung, Q. Huang, Y. Duan, L. Zhou, J. Chen (2013) Development and systematic validation of qPCR assays for rapid and reliable differentiation of *Xylella fastidiosa* strains causing citrus variegated chlorosis. *Journal of microbiological methods* 92: 79-89.
- Lopes, S. A., S. Marcussi, S. C. Z. Torres, V. Souza, C. Fagan and S. C. França (2003) Weeds as alternative hosts of the citrus, coffee, and plum strains of *Xylella fastidiosa* in Brazil. *Plant Disease* 87: 544-549.
- LPSN (2023) List of Prokaryotic Names with Standing in Nomenclature. (online), available from <<https://lpsn.dsmz.de/>>, (accessed 2023-05-26).
- Merriman, P. (2001) Analysis of the potential for the establishment of Pierce's Disease in Australian grapevines, Department of Natural Resources & Environment.
- Minsavage, G. V., C. M. Thompson, D. L. Hopkins, R. M. V. B. C. Leite and R. E. Stall (1994) Development of a Polymerase Chain Reaction Protocol for Detection of *Xylella fastidiosa* in Plant Tissue. *Phytopathology* 84: 456-461.
- MPI (2023) Nursery Stock - Import Health Standard. (online), available from <<https://www.biosecurity.govt.nz/importing/plants/nursery-stock/requirements/>>, (accessed 2023-08-25).
- 農林省 (1950a) 植物防疫法施行規則 (昭和 25 年農林省令第 73 号) .
- 農林省 (1950b) 輸入植物檢疫規程 (昭和 25 年農林省告示第 206 号) .
- 農林省 (1968) 隔離栽培運用基準 (昭和 43 年 5 月 20 日付け 43 農政 B 第 916 号農政局長通達) .

- 農林水産省 (1998) 輸出国における検疫措置を必要とする植物に係る輸入検疫実施要領 (平成 10 年 3 月 30 日付け 10 農産第 2122 号農産園芸局長通達) .
- Nunney, L., D. B. Vickerman, R. E. Bromley, S. A. Russell, J. R. Hartman, L. D. Morano and R. Stouthamer (2013) Recent evolutionary radiation and host plant specialization in the *Xylella fastidiosa* subspecies native to the United States. *Applied and Environmental Microbiology* 79: 2189–2200.
- Nunney, L., E. L. Schuenzel, M. Scally, R. E. Bromley, and R. Stouthamer (2014) Large-scale intersubspecific recombination in the plant-pathogenic bacterium *Xylella fastidiosa* is associated with the host shift to mulberry. *Applied and Environmental Microbiology* 80: 3025-3033.
- PACA (2018) Direction Régionale de l'Alimentation, de l'Agriculture et de la Forêt de la région Provence-Alpes-Côte-d'Azur. (online), available from <<http://draaf.paca.agriculture.gouv.fr/Xylella-fastidiosa-situation-au-10>>, (accessed 2023-06-16).
- Purcell, A. H. and S. Saunders (1995) Harvested grape clusters as inoculum for Pierce's disease. *Plant Disease* 79: 190-192.
- Pest Organisms Threatening Europe (POnTE) (2019a) The 12th update of the EC database of host plants found susceptible to *Xylella fastidiosa* in the EU territory has been released. (online), available from <<https://www.ponteproject.eu/news/the-12th-update-of-the-ec-database-of-host-plants-found-susceptible-to-xylella-fastidiosa-in-the-eu-territory-has-been-released/>>, (accessed 2023-06-16).
- Pest Organisms Threatening Europe (POnTE) (2019b) Research and Innovation Action H2020 Grant Agreement Number: 635646 Pest Organisms Threatening Europe (POnTE) DELIVERABLE 2.2 Definition of the host range of *Xylella fastidiosa* subspecies *pauca*, ST53. Ref. Ares (2019) 748932 - 08/02/2019.
- Randall, J. J., N. P. Goldberg, J. D. Kemp, M. Radionenko, J. M. French, M. W. Olsen and S. F. Hanson (2009) Genetic analysis of a novel *Xylella fastidiosa* subspecies found in the southwestern United States. *Applied and Environment Microbiology* 75: 5631–5638.
- Saponari, M., D. Boscia, G. Loconsole, F. Palmisano, V. Savino, O. Potere and G. P. Martelli (2014a) New hosts of *Xylella fastidiosa* strain CoDiRO in Apulia. *Journal of Plant Pathology* 96: 611.
- Saponari, M., G. Loconsole, D. cornara, R. K. Yokomi, A. D. Stradis, D. Boscia, D. Bosco, G. P. Martelli, R. Krugner and F. Porcelli (2014b) Infectivity and Transmission of *Xylella fastidiosa* by *Philaenus spumarius* (Hemiptera: Aphrophoridae) in Apulia, Italy. *Journal of Economic Entomology* 107: 1316-1319.
- Saponari, M., D. Boscia, G. Altamura, G. D'Attoma, V. Cavalieri, S. Zicca, M. Morelli and D. Tavano (2016) Pilot Project on *Xylella fastidiosa* to Reduce Risk Assessment Uncertainties. EFSA Supporting Publication 2016: EN-1013.
- Schaad, N. W., E. Postnikova, G. Lacy, M. B. Fatmi and C. J. Chang (2004) *Xylella fastidiosa* subspecies: *X. fastidiosa* subsp. *piercei*, subsp. nov., *X. fastidiosa* subsp. *multiplex* subsp. nov., and *X. fastidiosa* subsp. *pauca* subsp. nov. *Systematic and Applied Microbiology* 27: 290-300. (Abstract).
- Sherald, J. L. (1993) Pathogenicity of *Xylella fastidiosa* in American elm and failure of reciprocal transmission between strains from elm and sycamore. *Plant Disease* 77: 190-193.
- Su, C. C., C. M. Chang, C. J. Chang, W. Y. Su, J. C. Chu, W. L. Deng and H. T. Shih (2013) Occurrence of pierce's disease of grapevines and its control strategies in Taiwan. *Plant Pathology Bulletin* 22: 245-258.
- Ueno, B., C. K. Funada, M. A. Yorinori and R. P. Jr. Leite (1998) First report of *Xylella fastidiosa* on *Catharthus roseus* in Brazil. *Plant disease* 82: 712.
- XF-ACTORS (2018) First detection of *Xylella fastidiosa* in olive trees in Mainland Spain. European research on *Xylella fastidiosa*. (online), available from

<[https://www.xfactorsproject.eu/press\\_review/first-detection-xylella-olive-trees-mainland-spain/](https://www.xfactorsproject.eu/press_review/first-detection-xylella-olive-trees-mainland-spain/)>, (accessed 2023-06-16).

Wells, J. M., B. C. Raju, Y. H. Hung, W. G. Weisburg, L. Mandelco-Paul and D. J. Brenner (1987) *Xylella fastidiosa* gen. nov., sp. nov: gram-negative, xylem-limited, fastidious plant bacteria related to *Xanthomonas* spp. International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology 37: 136-143.

WTO (2022) Notification Addendum G/SPS/N/KOR/622/Add.3 27 June 2022.

WTO (2023) Committee on Sanitary and Phytosanitary Measures - Notification - Japan - Plant, plant products and other objects - Corrigendum G/SPS/N/JPN/1138/Add.1/Corr.1. 8 March 2023.